

第Ⅰ部 大学院人文社会系研究科・文学部の概況

1. 大学院人文社会系研究科・文学部の沿革と機構

(1) 沿革

A 学部の沿革（年譜）

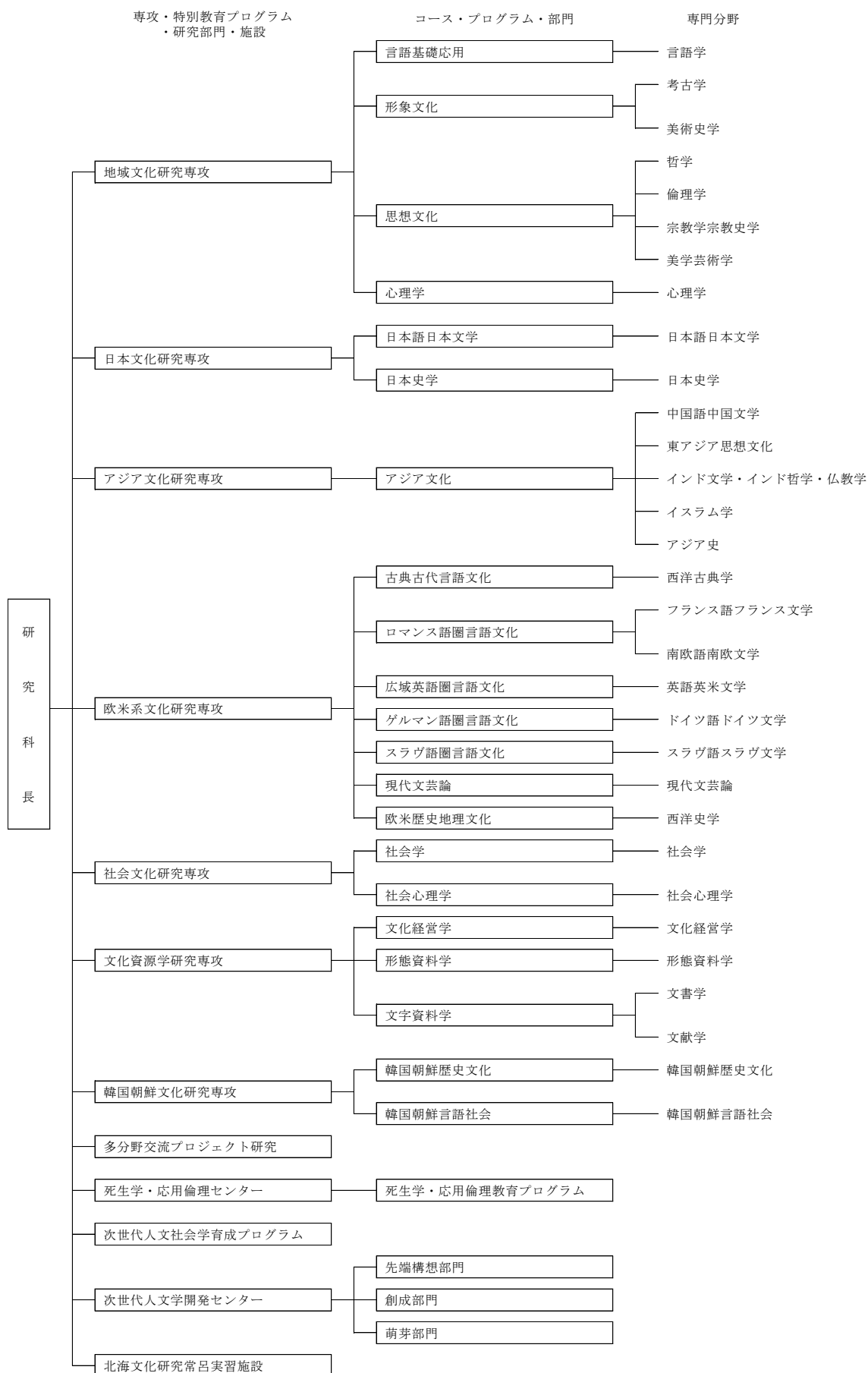
東京大学	文学部	明治10(1877), 4・東京大学設立	(2学科) 第一 史学, 哲学及政治学科 第二 和漢文学科
		明治12(1879), 9 《明治13(1880), 7・第1回卒業生8名》	「第一 史学, 哲学及政治学科」を『第一哲学政治学及理財学科』とする
		明治14(1881), 9	(3学科) 第一 哲学科 第二 政治学及理財学科 第三 和漢文学科
		明治18(1885), 12	(3学科) 第一 哲学科 第二 和文学科 第三 漢文学科 (政治学, 理財学は法政学部へ編入 法政学部は翌年法科大学となる)
帝国大学	文科大学	明治19(1886), 3・帝国大学令	(4学科) 『第四 博言学科』を増設
		明治20(1887), 9	(7学科) 第一 哲学科 第二 和文学科 第三 漢文学科 第四 史学科 第五 博言学科 第六 英文学科 第七 独逸文学科
		明治22(1889), 6	(8学科) 『国史科』を増設 「和文学科」を『国文学科』とする 「漢文学科」を『漢学科』とする
		明治22(1889), 12	(9学科) 『仏蘭西文学科』を増設
		明治28(1895), 4	史料編纂掛設置
東京帝国大学	文学部	明治33(1900), 6	「博言学科」を『言語学科』とする
		明治37(1904), 9	(3学科) 哲学科 史学科 文学科
		明治43(1910), 9	(3学科 19専修学科) 第一 哲学科－哲学, 支那哲学, 印度哲学, 心理学, 倫理学, 宗教学, 美学, 教育学, 社会学 第二 史学科－国史学, 東洋史学, 西洋史学 第三 文学科－国文学, 支那文学, 梵文学, 英吉利文学, 独逸文学, 仏蘭西文学, 言語学
		大正6(1917), 9	「宗教学」を『宗教学宗教史』とする 「美学」を『美学美術史』とする
		大正8(1919), 4・帝国大学令改定(大正7(1918), 12・大学令制定にともない)	
		大正8(1919), 9	(19学科) 国文学, 国史学, 支那哲学, 支那文学, 東洋史学, 西洋史学, 哲学, 印度哲学, 心理学, 倫理学, 宗教学宗教史, 社会学, 教育学, 美学美術史, 言語学, 梵文学, 英吉利文学, 独逸文学, 仏蘭西文学
		《大正10(1921), 4・学年暦変更「9月～7月」を『4月～3月』とする》	史料編纂掛を史料編纂所と改称する
		昭和4(1929), 7	(17学科)
		昭和7(1932), 4 《昭和18(1943), 12・学徒出陣》	「支那哲学」「支那文学」を『支那哲学支那文学』とする 「印度哲学」「梵文学」を『印度哲学梵文学』とする
		昭和21(1946), 3 《昭和21(1946), 4・女子学生9名入学》	(3学科 21専修科) 哲学科－哲学, 支那哲学, 印度哲学, 心理学, 倫理学, 宗教学, 社会学, 教育学, 美学, 美術史学 史学科－国史学, 東洋史学, 西洋史学, 考古学 文学科－言語学, 国文学, 支那文学, 梵文学, 英吉利文学, 独逸文学, 仏蘭西文学 能率研究室 航空研究所より移管
東京大学		昭和23(1948), 4	「支那哲学」を『中国哲学』とする 「支那文学」を『中国文学』とする
		昭和24(1949), 4	(19学科) 国文学, 国史学, 中国哲学, 中国文学, 東洋史学, 西洋史学, 哲学, 印度哲学梵文学, 心理学, 倫理学, 宗教学, 社会学, 教育学, 美学美術史, 言語学, 英吉利文学, 独逸文学, 仏蘭西文学, 考古学
		昭和25(1950), 4	「宗教学」を『宗教学宗教史』とする 「美学美術史」を『美学美術史学』とする 史料編纂所が文学部附属から東京大学附置研究所となる
		昭和26(1951), 4 《昭和26(1951), 4・教養学部より第1回新制学生進学》	(18学科) 「教育学科」を廃止する (昭和24年教育学部設立にともなう措置)

東京大学	文学部	昭和38(1963), 4	(4類 21専修課程) 第一類(文 化 学)ー哲学, 中国哲学, 印度哲学, 印度文学, 倫理学, 宗教学, 宗教史学, 美学, 美術史学 第二類(史 学)ー国史学, 東洋史学, 西洋史学, 考古学 第三類(語学文学)ー言語学, 国語国文学, 中国語中国文学, 英語英米文学, ドイツ語ドイツ文学, フラン ス語フランス文学, 西洋近代語近代文学, 西洋古典学 第四類(心理学, 社会学)ー心理学, 社会学
		昭和39(1964), 4	語学ラボラトリー設置
		昭和41(1966), 4	文化交流研究施設設置
		昭和42(1967), 4	第一類「美学」を『美学芸術学』とする
		昭和43(1968), 4	「第一類 美術史学」を『第二類 美術史学』とする
		昭和47(1972), 4	(4類 22専修課程) 『第三類 ロシア語ロシア文学』を増設
		昭和48(1973), 4	北海文化研究常呂実習施設設置
		昭和49(1974), 4	(4類 23専修課程) 『第四類 社会心理学』を増設
		昭和50(1975), 4	(4類 24専修課程) 第三類「国語国文学」を『国語学』『国文学』とする 「外国人留学生相談室」を開設
		昭和54(1979), 4	(4類 25専修課程) 『第三類 イタリア語イタリア文学』を増設 「第四類(心理学, 社会学)」を『第四類(行動学)』とする
		昭和57(1982), 4	(4類 26専修課程) 『第一類 イスラム学』を増設
		昭和59(1984), 9	語学ラボラトリーを視聴覚教育センターと改称する
		昭和60(1985), 4	「外国人留学生相談室」を「国際交流室」に改称する
		昭和63(1988), 4	(4類 27専修課程) 第一類「印度哲学・印度文学」を『第一類 印度哲学』『第三類 印度語印度文学』とする
		平成4(1992), 4	能率研究室を認知科学研究室に改称する
		平成5(1993), 4	文化交流研究施設の拡充 基礎理論部門 朝鮮文化部門
		平成6(1994), 4	(4類 26専修課程) 第一類「中国哲学」, 「印度哲学」を『第一類 中国思想文化学』, 『第一類 インド哲学仏教学』に, 第二類「国史学」を『第二類 日本史学』に, 第三類「印度語印度文学」, 「ロシア語ロシア文学」, 「イタリア語 イタリア文学」を『第三類 インド語インド文学』, 『第三類 スラヴ語スラヴ文学』, 『第三類 南欧語南欧文学』とし, 第三類「国語学」, 「国文学」を『第三類 日本語日本文学』とする 文化交流研究施設の拡充 基礎理論部門 朝鮮文化部門 東洋諸民族言語文化部門
		平成7(1995), 4	第一類(文 化 学)を『思想文化学科』に改称 第二類(史 学)を『歴史文化学科』に改称 第三類(語学文学)を『言語文化学科』に改称 第四類(行 動 学)を『行動文化学科』に改称
		平成19(2007), 4	思想文化学科「宗教学・宗教史学」を『宗教学宗教史学』に改称 言語文化学科「西洋近代語近代文学」を『現代文芸論』に改称
			(現在4学科 26専修課程) 思想文化学科ー哲学, 中国思想文化学, インド哲学仏教学, 倫理学, 宗教学宗教史学, 美学芸術学, イスラム学 歴史文化学科ー日本史学, 東洋史学, 西洋史学, 考古学, 美術史学 言語文化学科ー言語学, 日本語日本文学, 中国語中国文学, インド語インド文学, 英語英米文学, ドイツ語 ドイツ文学, フランス語フランス文学, スラヴ語スラヴ文学, 南欧語南欧文学, 現代文芸論, 西洋古典学 行動文化学科ー心理学, 社会心理学, 社会学

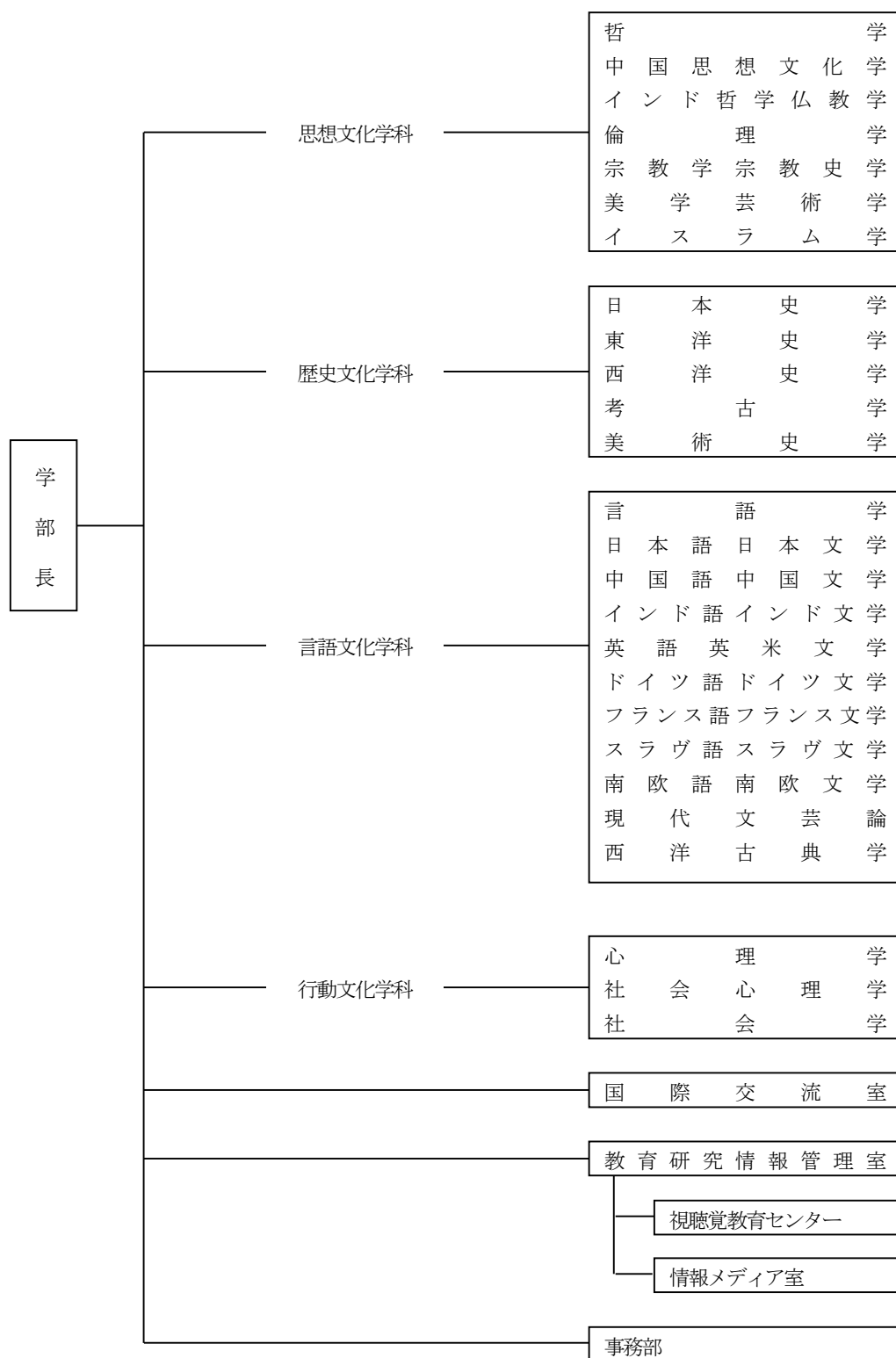
B 人文社会系研究科の沿革（年譜）

東京大学大学院	人文科学研究科	社会科学 研究科	昭和28(1953), 4 東京大学大学院（新制）設立	人文科学研究科（24専門課程） 国語国文学，中国語中国文学，西洋古典学，英語国文学，独語独文学， 仏語仏文学，比較文学比較文化，言語学，国史学，東洋史学，西洋史学， 考古学，哲学，中国哲学，印度哲学，倫理学，宗教学宗教史学， 美学美術史学，心理学，教育学，教育心理学，学校教育学，教育行政学， 体育学 社会科学研究科（10専門課程） 公法，民刑事法，基礎法学，政治，国際関係論，理論経済学経済史学， 応用経済学，商業学，農業経済学，社会学
		社会科学 研究科	昭和38(1963), 4 研究科の改編にともない， 教育学研究科，法学政治学 研究科，経済学研究科，社 会学研究科設立	人文科学研究科（19専門課程） 国語国文学，中国語中国文学，西洋古典学，英語国文学，独語独文学， 仏語仏文学，比較文学比較文化，言語学，国史学，東洋史学，西洋史学， 考古学，哲学，中国哲学，印度哲学，倫理学，宗教学宗教史学， 美学美術史学，心理学 社会科学研究科（2専門課程） 国際関係論，社会学
			昭和39(1964), 4	人文科学研究科（20専門課程） 美学美術史学専門課程を改組し，『美学専門課程』，『美術史学専門課程』設置
			昭和40(1965), 4	社会科学研究科（3専門課程） 『文化人類学専門課程』設置
			昭和42(1967), 4	人文科学研究科（20専門課程） 「美学専門課程」を『美学芸術学専門課程』に改称
			昭和49(1974), 4	人文科学研究科（21専門課程） 『露語露文学専門課程』設置
			昭和51(1976), 4	社会科学研究科（4専門課程） 『社会心理学専門課程』設置
			昭和58(1983), 4	人文科学研究科（20専門課程） 比較文学比較文化専門課程を総合文化研究科に振替 社会科学研究科（3専門課程） 国際関係論専門課程を総合文化研究科に振替
			昭和60(1985), 4	人文科学研究科（20専門課程） 印度哲学専門課程を『印度哲学印度文学専門課程』に改称
			昭和62(1987), 4	専門課程を専攻に変更
			昭和63(1988), 4	社会科学研究科（2専攻） 文化人類学専攻を総合文化研究科に振替
	人文社会系 研究科		平成7(1995), 4 人文科学研究科と社会科学研 究科の合流による再編にと もない，人文科学研究科の 『人文社会系研究科』への 名称変更，社会科学研究科の 廃止	人文社会系研究科（5専攻） 基礎文化研究専攻 日本文化研究専攻 アジア文化研究専攻 欧米系文化研究専攻 社会文化研究専攻 『多分野交流プロジェクト研究』の設置
			平成12(2000), 4	人文社会系研究科（6専攻） 『文化資源学研究専攻』設置
			平成14(2002), 4	人文社会系研究科（7専攻） 『韓国朝鮮文化研究専攻』設置
			平成16(2004), 4	文化交流研究施設 東洋諸民族言語文化部門を『基礎文化研究専攻・言語応用 コース・言語動態学専門分野』に改組 社会文化研究専攻・社会情報学コース・社会情報学専門分野を情報学環に振替
			平成17(2005), 4	文化交流研究施設を改組し，『次世代人文学開発センター』を設置
			平成19(2007), 4	欧米系文化研究専攻内に現代文芸論コース・現代文芸論専門分野を設置
			平成20(2008), 4	韓国朝鮮文化研究専攻を『韓国朝鮮歴史文化コース・韓国朝鮮歴史文化専門分野 及び韓国朝鮮言語社会コース・韓国朝鮮言語社会専門分野』に改組
			平成21(2009), 4	『基礎文化研究専攻・言語基礎コース・言語学専門分野』と『基礎文化研究専攻 ・言語応用コース・言語動態学専門分野』を統合し，『基礎文化研究専攻・言語 基礎応用コース・言語学専門分野』に改組 アジア文化研究専攻を改組し，『アジア文化研究専攻・アジア文化コース・中国 語中国文学専門分野，東アジア思想文化専門分野，インド文学・インド哲学・仏 教学専門分野，イスラム学専門分野，アジア史専門分野』を設置
			平成23(2011), 4	『死生学・応用倫理センター』の設置
				（現在 7専攻） 基礎文化研究専攻 言語基礎応用コース（言語学） 形象文化コース（考古学，美術史学） 思想文化コース（哲学，倫理学，宗教学宗教史学，美学芸術学） 心理学コース（心理学） 日本文化研究専攻 日本語日本文学コース（日本語日本文学） 日本史学コース（日本史学） アジア文化研究専攻 アジア文化コース（中国語中国文学，東アジア思想文化，インド文学・イン ド哲学・仏教学，イスラム学，アジア史） 欧米系文化研究専攻 古典古代言語文化コース（西洋古典学） ロマンス語圏言語文化コース（フランス語フランス文学，南欧語南欧文学） 広域英語圏言語文化コース（英語英米文学） ゲルマン語圏言語文化コース（ドイツ語ドイツ文学） スラヴ語圏言語文化コース（スラヴ語スラヴ文学） 現代文芸論コース（現代文芸論） 欧米歴史地理文化コース（西洋史学） 社会文化研究専攻 社会学コース（社会学） 社会心理学コース（社会心理学） 文化資源学研究専攻 文化経営学コース（文化経営学） 形態資料学コース（形態資料学） 文字資料学コース（文書学，文献学） 韓国朝鮮文化研究専攻 韓国朝鮮歴史文化コース（韓国朝鮮歴史文化） 韓国朝鮮言語社会コース（韓国朝鮮言語社会） 多分野交流プロジェクト研究 次世代人文学開発センター 死生学・応用倫理センター

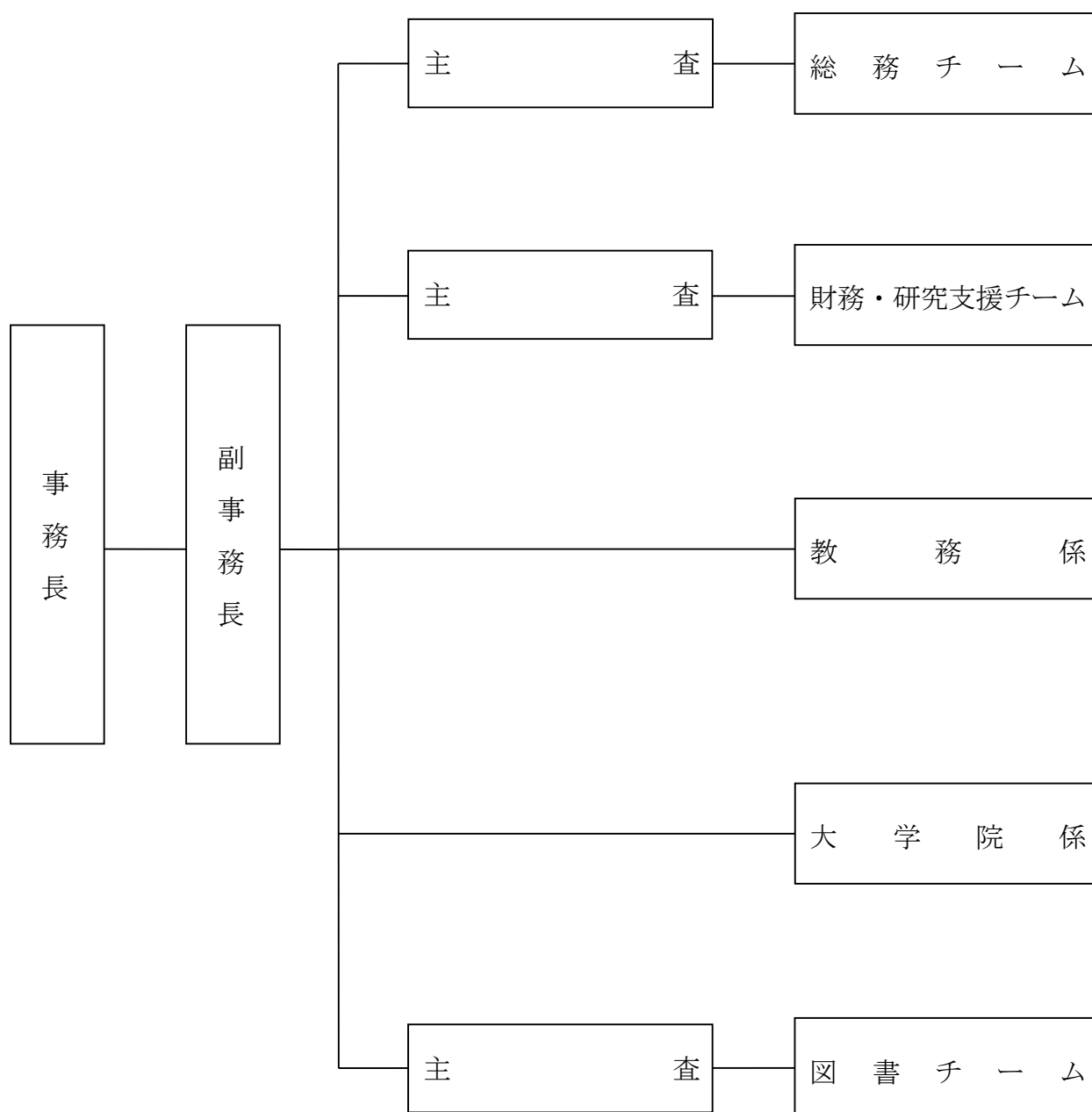
(2) 大学院人文社会系研究科の機構



(3) 文学部の機構



(4) 事務組織



(5) 施設・設備

(平成 26(2014)年度現在)

法文 1 号館	建 築 年	昭和 4(1929)・40(1965)	構 造	R3-1
		昭和 51(1976)	構 造	R+1
	建物面積	3,964 m ²	総建物面積	10,723 m ²
法文 2 号館	建 築 年	昭和 4(1929)・42(1967)	構 造	R4-1
		昭和 51(1976)	構 造	R+1
		昭和 56(1981)	構 造	S+1
	建物面積	12,857 m ²	総建物面積	15,390 m ²
文学部 3 号館	建 築 年	昭和 62(1987)	構 造	R8-2
	建物面積	3,547 m ²	総建物面積	3,547 m ²
アネックス	建 築 年	平成 9(1997)	構 造	S2
	建物面積	580 m ²	総建物面積	580 m ²
総合研究棟	建 築 年	平成 7(1995)	構 造	R7
	建物面積	657 m ²	総建物面積	3,942 m ²
赤門総合研究棟	建 築 年	昭和 40(1965)	構 造	R8-1
	建物面積	2,946 m ²	総建物面積	14,625 m ²

北海文化研究常呂実習施設

土地面積	所有	1,036 m ²							
	借用	7,911 m ²							
建 物	所有	車 庫	建 築 年	昭和 41(1966)		構 造	B1		
						総建物面積	38 m ²		
		資料保存センター	建 築 年	昭和 43(1968)		構 造	W2		
					総建物面積	175 m ²			
	借用	新学生宿舎	建 築 年	平成 15(2003)		構 造	R2		
						総建物面積	338 m ²		
資 料 館		建 築 年	昭和 42(1967)		構 造	R3			
				総建物面積	343 m ²				
		研 究 棟	建 築 年	平成 10(1998)		構 造	R1		
		(ところ埋蔵文化財センター)				総建物面積	868 m ²		

2. 教育とその成果

(1) 入学と進学

A 学部への進学・学士入学等

平成24(2012)年文学部学生数

平成24(2012)年4月1日現在

	2006	2007	2008	2009		2010			2011				2012				計
	進学	進学	進学	進学	学士	進学	学士	再入	進学	学士	再入	転学	進学	学士	再入	転学	
哲 学			1	3		10 (1)			20				19 (3)	2	1	1 (1)	57 (5)
中思文						2			2				4				8
印 哲						2			3 (1)	1	1		2 (1)	2			11 (2)
倫 理				1 (1)		4			15				15 (3)				35 (4)
宗 教				1 (1)		7 (1)			13 (5)	1			16 (6)		1		39 (13)
美 学			1		1 (1)	9 (2)			15 (6)				15 (5)				41 (14)
イ 学		1		1		2 (1)			1		1		4 (1)				10 (2)
計		1	2	6 (2)	1 (1)	36 (5)			69 (12)	2	2		75 (19)	4	2	1 (1)	201 (40)
日本史		1 (1)		1		11 (3)			24 (7)				25 (5)				62 (16)
東洋史	1			2		8			13				17 (2)				41 (2)
西洋史			1 (1)	4 (1)		14 (6)			26 (5)				24 (4)				69 (17)
考 古				1		3			8 (2)				2				14 (2)
美術史				2 (1)		5 (2)	1 (1)		15 (6)		1 (1)		11 (3)	1 (1)	1		37 (15)
計	1	1 (1)	1 (1)	10 (2)		41 (11)	1 (1)		86 (20)		1 (1)		79 (14)	1 (1)	1		223 (52)
言 語				2		2 (2)			15 (7)				11 (3)	1			31 (12)
国 語			1	3 (1)		6			9 (2)				11 (4)				30 (7)
国 文			1	1		8 (1)			23 (11)				14 (3)			1 (1)	48 (16)
中 文							1		1	1		1 (1)	2	2 (1)			8 (2)
印 文									1				1				2
英 文				4		9 (4)	2 (1)	1	25 (6)	1		2	28 (7)		1		73 (18)
独 文						2			2 (1)	1 (1)			2			1	8 (2)
仏 文				1	1	3 (2)			7 (1)	1		1	6 (1)	1			21 (4)
スラヴ						1				1				1			3
南欧文									2	1 (1)			2 (1)				5 (2)
現 文		1				1			8 (1)		1	1	8 (4)	1 (1)			22 (6)
西古典				2						2 (1)		2 (1)			1		7 (2)
計		1	2	14 (1)	1	32 (9)	3 (1)	1	93 (29)	8 (3)	1	7 (2)	85 (23)	6 (2)	2	2 (1)	258 (71)
心 理				1		7 (2)			23 (4)				23 (4)				54 (10)
社 心		1	1 (1)			4 (1)			22 (6)				24 (10)				52 (18)
社 会			2 (1)	1		10 (4)			51 (22)	2 (1)			52 (13)	1			119 (41)
計		1	3 (2)	2		21 (7)			96 (32)	2 (1)			99 (27)	1			225 (69)
合 計	1	4 (1)	8 (3)	32 (5)	2 (1)	130 (32)	4 (2)	1	344 (93)	12 (4)	4 (1)	7 (2)	338 (83)	12 (3)	5	3 (2)	907 (232)
	1	4 (1)	8 (3)	34 (6)		135 (34)			367 (100)				358 (88)				

()は、女子で内数。

平成25(2013)年文学部学生数

平成25(2013)年4月1日現在

	2006	2007	2008	2009	2010	2011				2012				2013				計
	進学	進学	進学	進学	進学	進学	学士	再入	転学	進学	学士	再入	転学	進学	学士	再入	転学	
哲 学			1	1	4	5				19 (3)	2	1	1 (1)	21 (2)				55 (6)
中思文					2	2				4								8
印 哲					1		1	1		2 (1)	2			2	1			10 (1)
倫 理					3	10				14 (3)				14 (2)				41 (5)
宗 教					2	5 (1)				16 (6)		1		14 (4)	1			39 (11)
美 学					4 (2)	5 (1)				14 (5)				16 (11)			1 (1)	40 (20)
イ 学		1			1	1				4 (1)				3				10 (1)
計		1	1	1	17 (2)	28 (2)	1	1		73 (19)	4	2	1 (1)	70 (19)	2		1 (1)	203 (44)
日本史		1 (1)		1	4 (1)	10				26 (5)				25 (3)				67 (10)
東洋史	1			1	2	6				17 (2)				14 (4)				41 (6)
西洋史			1 (1)	1	7 (2)	10 (1)				24 (4)				26 (9)				69 (17)
考 古						2				2				7 (2)			1	12 (2)
美術史						5 (2)				11 (3)	1 (1)	1		12 (10)				30 (16)
計	1	1 (1)	1 (1)	3	13 (3)	33 (3)				80 (14)	1 (1)	1		84 (28)			1	219 (51)
言 語						5 (3)				11 (3)	1			14 (2)		1		32 (8)
国 語			1		3	3				11 (4)				9 (2)			2	29 (6)
国 文			1		3	5 (3)				14 (3)			1 (1)	17 (5)			2 (2)	43 (14)
中 文						1				2	2 (1)			3				8 (1)
印 文										1								1
英 文					3 (2)	4 (1)			1	28 (7)		1		27 (6)	1	1		66 (16)
独 文					2	1 (1)	1 (1)			2			1	3 (1)	1 (1)		1	12 (4)
仏 文				1	1 (1)	4 (1)				6 (1)	1			7 (1)				20 (4)
スラヴ							1				1			1				3
南欧文						1	1 (1)			2 (1)					2 (2)			6 (4)
現 文					1	4				8 (4)	1 (1)			8 (3)			2 (1)	24 (9)
西古典									1 (1)			1		3		1		6 (1)
計			2	1	13 (3)	28 (9)	3 (2)		2 (1)	85 (23)	6 (2)	2	2 (1)	92 (20)	4 (3)	3	7 (3)	250 (67)
心 理						4				24 (4)				22 (6)				50 (10)
社 心					1	7 (2)				24 (10)				24 (13)				56 (25)
社 会					2	11 (4)	1			52 (13)	1			51 (17)	1			119 (34)
計					3	22 (6)	1			100 (27)	1			97 (36)	1			225 (69)
合 計	1	2 (1)	4 (1)	5	46 (8)	111 (20)	5 (2)	1	2 (1)	338 (83)	12 (3)	5	3 (2)	343 (103)	7 (3)	3	9 (4)	897 (231)
	1	2 (1)	4 (1)	5	46 (8)		119 (23)			358 (88)				362 (110)				

()は、女子で内数。

B 学士入学試験の実施状況

専修課程	合 格 者				
	出 願 者				
	平成21(2009)年	平成22(2010)年	平成23(2011)年	平成24(2012)年	平成25(2013)年
思想文化					
哲 学	0 13	0 10	2 8	0 10	0 8
中思文	0 0	0 3	0 0	0 0	0 0
印 哲	2 7	1 6	2 5	1 8	1 2
倫 理	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし
宗 教	0 5	1 2	0 2	1 4	1 3
美 学	1 7	0 9	0 3	0 2	0 5
イ 学	0 1	0 1	0 0	0 1	0 0
小 計	3 33	2 31	4 18	2 25	2 18
歴史文化					
日本史	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし
東洋史	0 4	0 3	募集なし	募集なし	募集なし
西洋史	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし
考 古	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし
美術史	2 8	0 1	1 3	0 6	0 3
小 計	2 12	0 4	1 3	0 6	0 3
言語文化					
言 語	0 2	0 1	1 5	0 1	1 4
国 語	0 2	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし
国 文	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし
中 文	1 3	1 2	2 3	0 0	1 3
印 文	0 1	0 1	0 0	0 1	1 1
英 文	2 10	2 5	0 6	1 4	0 3
独 文	1 1	2 2	1 2	1 1	0 1
仏 文	0 0	1 7	1 3	0 3	1 5
スラヴ	0 1	1 2	1 2	0 0	1 1
南欧文	0 4	1 1	0 0	2 2	1 1
現 文	1 6	0 4	1 5	0 4	0 2
西古典	0 1	2 2	0 0	0 2	2 2
小 計	5 31	10 27	7 26	4 18	8 23
行動文化					
心 理	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし
社 心	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし
社 会	1 13	2 9	1 13	1 13	2 11
合 計	11 89	14 71	13 60	7 62	12 55

C 大学院への入・進学

平成24(2012)年度 大学院学生数

(注) ()内は女性、○数字は外国人を示し、内数

専攻	コース	専門分野	修 士 課 程				博 士 課 程				
			2012年	2011年	10年以前	計	2012年	2011年	2010年	09年以前	計
基礎文化研究	言語基礎応用	言 語 学	5 (3) ①	6 (1) ②	3	14 (4) ③	5 (1) ①	1 (1)	6 (3) ①	5 (2) ①	17 (7) ③
	形象文化	考 古 学	3 (1)	2	1	6 (1)	5 (1)	3 (1)	1 (1)	1 (1)	10 (4)
		美 術 史 学	6 (2) ①	6 (5)		12 (7) ①	1 (1)		5 (4) ①	5 (3) ①	11 (8) ②
	思想文化	哲 学	8 (2) ①	9 (1)	4	21 (3) ①	6 (3)	5 (1)	2	8 (1) ①	21 (5) ①
		倫 理 学	3	3 (2)		6 (2)	1 ①	1	1	4 (1)	7 (1) ①
		宗教学宗教史学	7 ①	6 (3)	5	18 (3) ①	6 (2) ①	6 (3)	5 (1) ①	13 (5) ②	30 (11) ④
	心理学	美学藝術学	2 (2) ①	1 (1)	3	6 (3) ①		3	1	5 (1) ①	9 (1) ①
		心 理 学	5 (1) ①	4 (2)		9 (3) ①	4	1 (1)	4 (3)		9 (4)
日本文化研究	日本語日本文学	日本語日本文学	6 (2) ②	9 (6) ③	3 (1)	18 (9) ⑤	6 (4)	5 (2) ②	6 (3) ③	15 (7) ⑤	32 (16) ⑩
	日本史学	日 本 史 学	10 (3)	9 (4) ①		19 (7) ①	5 (1) ①	5 (1) ①	7 (2) ①	12 (4) ①	29 (8) ④
アジア文化研究	アジア文化	中国語中国文学	4 (1) ①	5 (5) ④	2 (1)	11 (7) ⑤	5 (4) ③	3 (2) ①	1	11 (7) ④	20 (13) ⑧
		(東アジアコース) 東アジア歴史社会								6 (3) ①	6 (3) ①
		東アジア思想文化	2 (2) ①	1		3 (2) ①	2 ②			3 (2) ①	5 (2) ③
		インド文学・インド哲学・仏教学	3 (1)	2 ①	4	9 (1) ①	5 (2) ⑤	2 (1)	2	14 (7) ③	23 (10) ⑧
		(南アジア・東南アジア・仏教コース) 南アジア・東南アジア歴史社会								5 (4)	5 (4)
		イスラム学		1		1		2 (2)	1 (1) ①	5	8 (3) ①
		(西アジア歴史社会コース) 西アジア歴史社会								3 ①	3 ①
		アジア史	4	3 (2) ②	1	8 (2) ②	3 (3)	2 (1)	5 (1) ①	2 (1) ①	12 (6) ②
		欧米系文化研究	古典古代言語文化	西洋古典学		2 (1)		2 (1)	1	2 (1)	
ロマンス語圏言語文化	フランス語フランス文学			2 (1)	5 (4)	3 (1)	10 (6)	3 (1)	3	3 (1)	12 (5)
広域英語圏言語文化	南欧語南欧文学		1	1 (1)		2 (1)	1 (1)			1	2 (1)
	英語英米文学		2 (1)	5 (3)	4 (1)	11 (5)	5 (3)	9 (6) ①	4 (2)	16 (4)	34 (15) ①
ゲルマン語圏言語文化	ドイツ語ドイツ文学		3 (1)	2 (1)	5 (3)	10 (5)	4 (3)	1 (1)	3 (2)	7 (4)	15 (10)
スラヴ語圏言語文化	スラヴ語スラヴ文学		1 (1)	2 (1) ①	2 (1)	5 (3) ①	3 (1)	2 (1)	1	3 (2)	9 (4)
現代文芸論	現代文芸論		8 (4) ③	6 (2) ①	6 (3)	20 (9) ④	5 (2) ①	3 (1)	3 (1)	4 (3) ②	15 (7) ③
欧米歴史地理文化	西洋史学		5 (1)	5	2	12 (1)	3	2	3 (3)	16 (5)	24 (8)
社会文化研究	社会学	社 会 学	8 (4) ①	8 ①	4 (2)	20 (6) ②	2 (1) ①	5 (1) ①	3 (2) ①	16 (4) ②	26 (8) ⑤
	社会心理学	社会心理学	3	2 (1) ①	1 (1) ①	6 (2) ②	1 (1) ①	3 (1) ②	4 (1)	5 (4) ①	13 (7) ④
	社会情報学	社会情報学								1	1
文化資源学研究	文化経営学	文化経営学	5 (2) ②	5 (4) ①	7 (4)	17 (10) ③	2	1 (1) ①	3 (3)	5 (3)	11 (7) ①
	形態資料学	形態資料学	2 (2)	1 (1)		3 (3)	1	2 (2) ①		7 (6) ②	10 (8) ③
	文字資料学	文 書 学		1		1	2 (1)			2 (2)	4 (3)
		文 献 学		1	1 (1)	2 (1)				1	1
韓国朝鮮文化研究	韓国朝鮮歴史社会	韓国朝鮮歴史社会								1	1
	韓国朝鮮言語思想	韓国朝鮮言語思想								1 (1) ①	1 (1) ①
	北東アジア文化交流	北東アジア文化交流								1 (1) ①	1 (1) ①
	韓国朝鮮歴史文化	韓国朝鮮歴史文化	3 (1) ①	3 (1)		6 (2) ①	1 (1) ①	1 ①		5 (1) ①	7 (2) ③
	韓国朝鮮言語社会	韓国朝鮮言語社会	4 (2) ③	6 (5) ④	3 (3) ③	13 (10) ⑩	2 (2)	2 (2) ②	1 (1) ①	4 (2) ①	9 (7) ④
合 計			115 (40) ②①	122 (57) ②②	64 (22) ④	301 (119) ④⑥	90 (39) ⑧	75 (33) ⑬	75 (35) ⑪	227 (96) ②④	467 (203) ⑦⑥

平成25(2013)年度 大学院学生数

(注) ()内は女性、○数字は外国人を示し、内数

専攻	コース	専門分野	修 士 課 程				博 士 課 程				
			2013年	2012年	11年以前	計	2013年	2012年	2011年	09年以前	計
基礎文化研究	言語基礎応用	言 語 学	5 (3) ③	5 (3) ①	3	13 (6) ④	4 (1) ①	5 (1) ①	1 (1)	9 (4) ①	19 (7) ③
	形象文化	考 古 学	2 (1)	3 (1)	1	6 (2)	4	5 (1)	2 (1)	2 (2)	13 (4)
		美 術 史 学	3 (3) ①	6 (2) ①	2 (2)	11 (7) ②	2 (2)	1 (1)		7 (6) ①	10 (9) ①
	思想文化	哲 学	7 (2)	8 (2) ①	8 (1)	23 (5) ①	4	5 (3)	5 (1)	8 ①	22 (4) ①
		倫 理 学	3 (1)	3	2 (1)	8 (2)	1 (1)	1 ①	1	2	5 (1) ①
		宗教学宗教史学	5 (3)	7 ①	3 (2)	15 (5) ①	6	5 (2) ①	5 (2)	13 (4) ②	29 (8) ③
		美学藝術学	2 (1)	2 (2) ①		4 (3) ①	3 (1)		3	5 (1) ①	11 (2) ①
	心理学	心 理 学	3 (1)	5 (1) ①		8 (2) ①	3 (1)	2	1 (1)	3 (3)	9 (5)
日本文化研究	日本語日本文学	日本語日本文学	11 (4) ②	6 (2) ②	3 (1) ①	20 (7) ⑤	6 (5) ④	5 (3)	5 (2) ②	16 (8) ⑥	32 (18) ⑫
	日本史学	日 本 史 学	7 (3) ①	10 (3) ①	2 (1)	19 (7) ①	5 (3) ①	5 (1) ①	5 (1) ①	9 (4) ①	24 (9) ④
アジア文化研究	アジア文化	中国語中国文学	3 (2) ②	4 (1) ①	1 (1) ①	8 (4) ④	4 (4) ③	4 (4) ③	3 (2) ①	8 (4) ②	19 (14) ⑨
		(東アジアコース) 東アジア歴史社会								4 (2) ①	4 (2) ①
		東アジア思想文化	1 (1) ①	2 (2) ①		3 (3) ②	2	2 ②		1 (1)	5 (1) ②
		インド文学・インド哲学・仏教学	3 (1)	3 (1)	1	7 (2)	4 ①	5 (2) ⑤	1	9 (4) ②	19 (6) ⑧
		(南アジア・東南アジア・仏教コース) 南アジア・東南アジア歴史社会								2 (2)	2 (2)
		イスラム学							2 (2)	4 (1) ①	6 (3) ①
		(西アジア歴史社会コース) 西アジア歴史社会								3 ①	3 ①
		アジア史	3 (1)	4	1 ①	8 (1) ①	3 (2)	2 (2)	2 (1)	7 (2) ②	14 (7) ②
欧米文化研究	古典古代言語文化	西洋古典学	3 (1) ①			3 (1) ①	2 (1)	1	2 (1)	1	6 (2)
	ロマンス語圏言語文化	フランス語フランス文学	5 (2)	2 (1)	5 (5)	12 (8)	1	3 (1)	3	11 (5)	18 (6)
		南欧語南欧文学		1	1 (1)	2 (1)		1 (1)		1	2 (1)
	広域英語圏言語文化	英語英米文学	8 (3)	2 (1)	4 (2)	14 (6)	5 (1)	5 (3)	8 (5) ①	12 (4)	30 (13) ①
	ゲルマン語圏言語文化	ドイツ語ドイツ文学	3	3 (1)	1	7 (1)	5 (2)	4 (3)	1 (1)	8 (5)	18 (11)
	スラヴ語圏言語文化	スラヴ語スラヴ文学	1 (1) ①	1 (1)	2 (1)	4 (3) ①	2 (1) ①	3 (1)	2 (1)	3 (1)	10 (4) ①
	現代文芸論	現代文芸論	7 (2) ①	8 (4) ③	7 (3) ①	22 (9) ⑤	1	5 (2) ①	3 (1)	6 (3) ①	15 (6) ②
	欧米歴史地理文化	西洋史学	5 (1)	5 (1)	1	11 (2)	3	3	2	12 (6)	20 (6)
社会文化研究	社会学	社 会 学	6 (4) ③	8 (4) ①	6 (1) ①	20 (9) ⑤	4	2 (1) ①	5 (1) ①	11 (5) ③	22 (7) ⑤
	社会心理学	社会心理学	4	3		7	1 (1) ①	1 (1) ①	3 (1) ②	7 (3)	12 (6) ④
文化資源学研究	文化経営学	文化経営学	7 (5)	5 (2) ②	2 (1)	14 (8) ②	1 (1) ①	2	1 (1) ①	6 (5)	10 (7) ②
	形態資料学	形態資料学	1 (1)	2 (2)		3 (3)		1	2 (2) ①	6 (5) ①	9 (7) ②
	文字資料学	文 書 学			1	1		2 (1)		2 (2)	4 (3)
		文 献 学			1	1				1	1
韓国朝鮮文化研究	韓国朝鮮言語思想	韓国朝鮮言語思想								1 (1) ①	1 (1) ①
	韓国朝鮮歴史文化	韓国朝鮮歴史文化	3 (1) ①	3 (1) ①	2	8 (2) ②	2 (2) ②	1 (1) ①	1 ①	5 (1) ①	9 (4) ⑤
	韓国朝鮮言語社会	韓国朝鮮言語社会	4 (3) ①	4 (2) ③	2 (1) ①	10 (6) ⑤	4 (4) ④	2 (2)	2 (2) ②	4 (3) ②	12 (11) ⑧
合 計			115 (51) ⑬	115 (40) ⑫	62 (24) ⑥	292 (115) ④④	82 (33) ⑬	83 (37) ⑬	71 (30) ⑬	209 (97) ⑪	445 (197) ⑪

(2) 教育の成果

A 大学院の学位取得状況

学位取得者数

	平成 21(2009) 年度		平成 22(2010) 年度		平成 23(2011) 年度		平成 24(2012) 年度		平成 25(2013) 年度	
	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士
人文社会系研究科	121	70(13)	108	68(7)	127	64(11)	116	56(6)	108	68(7)

()はいわゆる論文博士で内数

B 博士論文のオンデマンド出版

東京大学大学院人文社会系研究科では、2000 年 11 月から富士ゼロックス（現在はコンテンツワークス株式会社）の運営するウェブサイト Book Park を利用して、博士論文の公開を開始した。これは、インターネット上に、本研究科の審査に合格した博士論文のリストを掲示し、読者からの購入の希望に応じて当該論文の複写・製本サービスを提供するものである。

オンデマンド出版サービスを開始して以来、2013 年度末の時点でウェブサイト上にタイトルが掲載された博士論文の数は 84 点に達していた。これには、最新の博士論文のほか、過去 15 年間に提出された博士論文、さらに本研究科博士課程出身者が海外の大学に提出した博士論文も含まれていた。

なお、本事業は、2013 年 4 月 1 日施行の「学位規則の一部を改正する省令」（平成 25 年文部科学省令第 5 号）により、博士論文が従来の印刷公表に代えてインターネットの利用により公表することが義務づけられたことに伴い、2014 年 3 月をもって終了した。

C 学部卒業生の進路

平成24(2012)年3月卒業生進路状況

専 修 課 程	項 目	卒業生総数	進学者					就職者					未就職者				不明者
			大学院	大学学部	研究生他	計	企業	官庁	教育	その他	計	進学準備中	就職準備中	その他	計		
文学部全体		362 (106)	75 (21)	1	2 (1)	78 (22)	180 (49)	18 (9)	8 (5)	11 (4)	217 (67)	4	21 (6)	11 (4)	36 (10)	31 (7)	

各学科内訳

(思想文化学科)

専修課程	卒業生総数	進学者				就職者					未就職者				不明者
		大学院	大学学部	研究生他	計	企業	官庁	教育	その他	計	進学準備中	就職準備中	その他	計	
哲学	22 (2)	6 (2)	1		7 (2)	10				10		1	1	3 (0)	2
中国思想文化学	1				1										
インド哲学仏教学	4 (2)	2 (1)			2 (1)	1 (1)				1	2 (1)				
倫理学	18 (1)	2			2	11	2	1	1	15					1 (1)
宗教学宗教史学	18 (7)	5			5	8 (5)	1 (1)			10 (6)	1	2 (1)		3 (1)	
美学芸術学	14 (6)	2 (1)			2 (1)	6 (1)	1 (1)			2 (2)	9 (4)	1		2 (1)	1
イスラム学	1					1				1					
(思想文化学科 計)	78 (18)	18 (4)	1		19 (4)	37 (7)	4 (2)	1	5 (2)	47 (11)	3	3 (1)	2 (1)	8 (2)	4 (1)

(歴史文化学科)

専修課程	卒業生総数	進学者				就職者					未就職者				不明者
		大学院	大学学部	研究生他	計	企業	官庁	教育	その他	計	進学準備中	就職準備中	その他	計	
日本史学	22 (5)	9 (3)		9 (3)	9				2 (1)	11 (1)		1	1 (1)	2 (1)	
東洋史学	23 (7)	2		2	14 (6)	1 (1)			1	16 (7)		2		2	3
西洋史学	22 (4)	4		4	7	3 (1)	1			11 (1)		3 (1)	1 (1)	4 (2)	3 (1)
考古学	2 (1)														2 (1)
美術史学	15 (7)	5 (2)		1 (1)	6 (3)	5 (2)	1	1 (1)		7 (3)	1	1 (1)		2 (1)	
(歴史文化学科 計)	84 (24)	20 (5)		1 (1)	21 (6)	35 (8)	5 (2)	2 (1)	3 (1)	45 (12)	1	7 (2)	2 (2)	10 (4)	8 (2)

(言語文化学科)

専 修 課 程	項 目	卒業生総数	進学者				就職者					未就職者				不明者
			大学院	大学学部	研究生他	計	企業	官庁	教育	その他	計	進学準備中	就職準備中	その他	計	
言語学		14 (6)	5 (4)			5 (4)	5 (1)			5 (1)		1 (1)	2	3 (1)	1	
日本語日本文学(国語学)		5 (3)					2 (1)	1 (1)		3 (2)		2 (1)		2 (1)		
日本語日本文学(国文学)		19 (5)	4 (1)			4 (1)	12 (4)			12 (4)		1		1	2	
中国語中国文学		1	1			1										
インド語インド文学																
英語英米文学		27 (6)	5 (2)			5 (2)	19 (4)		1	20 (4)					2	
ドイツ語ドイツ文学		1													1	
フランス語フランス文学		13 (4)	1		1	6 (3)	1 (1)	1		8 (4)		2		2	2	
スラヴ語スラヴ文学		3 (1)				3 (1)				3 (1)						
南欧語南欧文学		2				1				1			1	1		
現代文芸論		10 (4)	4 (2)		4 (2)	1 (1)	1		1	3 (1)	1 (1)	1		2 (1)	1	
西洋古典学		1											1	1		
(言語文化学科 計)		96 (29)	20 (9)		20 (9)	49 (15)	2 (1)	2 (1)	2	55 (17)		7 (3)	5	12 (3)	9	

(行動文化学科)

専修課程	項目	卒業生総数	進学者				就職者				未就職者				不明者	
			大学院	大学学部	研究生	計	企業	官庁	教育	その他	計	進学準備中	就職準備中	その他		計
心理学		24 (5)	7 (1)			7 (1)	13 (3)				1 (1)	14 (4)	2		2	1
社会心理学		26 (9)	5 (1)		1	6 (1)	15 (4)	2 (1)	3 (3)			20 (8)				
社会学		54 (21)	5 (1)			5 (1)	31 (12)	5 (3)				36 (15)	2	2 (1)	4 (1)	9 (4)
(行動文化学科 計)		104 (35)	17 (3)		1	18 (3)	59 (19)	7 (4)	3 (3)	1 (1)	70 (27)	4	2 (1)	6 (1)	10 (4)	

()内は、女子で内数

平成25(2013)年3月卒業生進路状況

専修課程	項目	卒業生総数	進学者				就職者					未就職者				不明者
			大学院	大学学部	研究生他	計	企業	官庁	教育	その他	計	進学準備中	就職準備中	その他	計	
文学部全体		360 (108)	70 (23)	1	3	74 (23)	193 (47)	26 (12)	14 (7)		233 (66)	3 (1)	9 (3)	14 (5)	26 (9)	27 (10)

各学科内訳

(思想文化学科)

専修課程	項目	卒業生総数	進学者				就職者					未就職者			不明者
			大学院	大学学部	研究生他	計	企業	官庁	教育	その他	計	進学準備中	就職準備中	その他	
哲学		22 (1)	8 (1)		8 (1)	11				11	1			1	2
中国思想文化学															
インド哲学仏教学		4 (1)	3 (1)		3 (1)		1			1					
倫理学		8 (1)	2		2	2		1		3		1		1	2 (1)
宗教学宗教史学		15 (6)	3 (2)		3 (2)	11 (3)	1 (1)			12 (4)					
美学芸術学		15 (5)	2		2	10 (3)		1 (1)		11 (4)			1 (1)	2 (1)	
イスラム学		2 (1)				2 (1)				2 (1)					
(思想文化学科 計)		66 (15)	18 (4)		18 (4)	36 (7)	2 (1)	2 (1)	2	40 (9)	1	2	1 (1)	4 (1)	4 (1)

(歴史文化学科)

専修課程	項目	卒業生総数	進学者				就職者					未就職者				不明者
			大学院	大学学部	研究生他	計	企業	官庁	教育	その他	計	進学準備中	就職準備中	その他	計	
日本史学		21 (9)	5 (4)			5 (4)	8 (2)	3 (1)		3 (1)		14 (4)		1 (1)	1	2 (1)
東洋史学		13	1			1	11	1				12				
西洋史学		26 (9)	4 (2)			4 (2)	19 (6)	2 (1)				21 (7)		1		1
考古学		10 (2)	3 (1)			3 (1)	5 (1)	2				7 (1)				
美術史学		19 (9)	2 (2)		1	3 (2)	8 (2)	2 (1)	1 (1)			11 (4)	1 (1)	4 (2)		5 (3)
(歴史文化学科 計)		89 (29)	15 (9)	1	16 (9)	51 (11)	10 (3)	4 (2)				65 (16)	1 (1)	6 (3)	1	8 (4)

(言語文化学科)

専修課程	項目	卒業生総数	進学者				就職者					未就職者				不明者
			大学院	大学学部	研究生他	計	企業	官庁	教育	その他	計	進学準備中	就職準備中	その他	計	
言語学		13 (6)	1	1	2	9 (4)	1 (1)			10 (5)			1 (1)	1 (1)		
日本語日本文学(国語学)		12 (3)			1	9 (1)			2 (2)	11 (3)						
日本語日本文学(国文学)		22 (9)	6 (3)		6 (3)	11 (4)	1 (1)	1		13 (5)			2 (1)	2 (1)	1	
中国語中国文学		3 (1)	1 (1)		1 (1)		1			1			1	1		
インド語インド文学		1											1	1		
英語英米文学		35 (8)	7 (2)		1	8 (2)	19 (4)	2 (1)	2 (1)	23 (6)	1		2	3	1	
ドイツ語ドイツ文学		1													1	
フランス語フランス文学		8 (1)	2		2	2					2		2	2	2 (1)	
スラヴ語スラヴ文学		1				1					1					
南欧語南欧文学		1				1					1					
現代文芸論		7	4		4	1				1			1	1	1	
西洋古典学		4 (1)	1		1	1	1			2			1 (1)	1 (1)		
(言語文化学科 計)		108 (29)	23 (6)	1	1	25 (6)	54 (13)	6 (3)	5 (3)	65 (19)	1		11 (3)	12 (3)	6 (1)	

(行動文化学科)

専修課程 項目	卒業生総数	進学者					就職者					未就職者			不明者		
		大学院	大学学部	研究生他	計	企業	官庁	教育	その他	計	進学準備中	就職準備中	その他	計			
		心理学	27 (6)	4 (1)		1	5 (1)	18 (4)	3 (1)			21 (5)					1
		社会心理学	19 (6)	3		3	12 (4)	1 (1)	1			14 (5)	1			1 (1)	2 (1)
		社会学	51 (23)	7 (3)		7 (3)	22 (8)	4 (3)	2 (1)			28 (12)					16 (8)
		(行動文化学科 計)	97 (35)	14 (4)	1	15 (4)	52 (16)	8 (5)	3 (1)			63 (22)	1			1 (1)	2 (1)

()内は、女子で内数

D 学部卒業生の就職状況

平成24(2012)年3月卒業者

業 種 専 修 課 程	印刷 出版	新聞	放送	広告	情報 通信	コンサルタント	金融 保険	商社 流通	建築 不動産	運輸 郵便	製造	サービス	教育	官公庁	電気 ガス	その他
文学部全体	7 (5)	7	8 (3)	2	28 (7)	5 (1)	38 (12)	13 (3)	9 (3)	6 (1)	30 (7)	23 (5)	9 (6)	19 (9)	3 (1)	2 (1)

(思想文化学科)

業 種 専 修 課 程	印刷 出版	新聞	放送	広告	情報 通信	コンサルタント	金融 保険	商社 流通	建築 不動産	運輸 郵便	製造	サービス	教育	官公庁	電気 ガス	その他
哲学		1			3		3				2	1				
中国思想文化学																
インド哲学仏教学			1 (1)		1											
倫理学	1	1			1						1	2	1	2		
宗教学宗教史学	1 (1)						2 (2)		1 (1)		3 (1)			1 (1)	1	
美学芸術学	1	1	2 (1)				1				1			1 (1)		1 (1)
イスラム学											1					
(思想文化学科 計)	3 (1)	3	3 (2)		5		11 (2)		1 (1)		8 (1)	3	1	4 (2)	1	1 (1)

(歴史文化学科)

業 種 専 修 課 程	印刷 出版	新聞	放送	広告	情報 通信	コンサルタント	金融 保険	商社 流通	建築 不動産	運輸 郵便	製造	サービス	教育	官公庁	電気 ガス	その他
日本史学		1			1	2	1		1	1		1				1
東洋史学					7 (2)		3 (2)		1	1 (1)	2 (1)			1 (1)		
西洋史学			1	1	1				2	1	1		1	3 (1)		
考古学																
美術史学			1 (1)		1		1 (1)	2					1 (1)	1		
(歴史文化学科 計)		1	2 (1)	1	10 (2)	2	5 (3)	2	4	3 (1)	3 (1)	1	2 (1)	5 (2)		1

(言語文化学科)

業 種 専 修 課 程	印刷 出版	新聞	放送	広告	情報 通信	コンサルタント	金融 保険	商社 流通	建築 不動産	運輸 郵便	製造	サービス	教育	官公庁	電気 ガス	その他
言語学	1 (1)						2				1	1				
日本語日本文学(国語学)												1	1 (1)		1 (1)	
日本語日本文学(国文学)		1			2 (1)		2 (1)	2 (1)	1 (1)		1	3				
中国語中国文学																
インド語インド文学																
英語英米文学	1 (1)		2		1	1	4 (2)	1	2	1	3	4 (1)				
ドイツ語ドイツ文学																
フランス語フランス文学	1 (1)				1 (1)			2			1 (1)	1	1	1 (1)		
スラブ語スラブ文学					1 (1)			2								
南欧語南欧文学							1									
現代文芸論							1 (1)							1		
西洋古典学																
(言語文化学科 計)	3 (3)	1	2		5 (3)	1	10 (4)	7 (1)	3 (1)	1	6 (1)	10 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	

(行動文化学科)

業 種 専 修 課 程	印刷 出版	新聞	放送	広告	情報 通信	コンサルタント	金融 保険	商社 流通	建築 不動産	運輸 郵便	製造	サービス	教育	官公庁	電気 ガス	その他
心理学					1		4 (1)				3 (1)	3	1 (1)		1	
社会心理学		1			4 (1)	2 (1)	2 (1)	1			4 (1)	1	3 (3)	2 (1)		
社会学	1 (1)	1	1	1	3 (1)		6 (1)	3 (2)	1 (1)	2	6 (2)	5 (4)		6 (3)		
(行動文化学科 計)	1 (1)	2	1	1	8 (2)	2 (1)	12 (3)	4 (2)	1 (1)	2	13 (4)	9 (4)	4 (4)	8 (4)	1	

()内は、女子で内数

平成25(2013)年3月卒業者

業 種 専 修 課 程	印刷 出版	新聞	放送	広告	情報 通信	コンサルタント	金融 保険	商社 流通	建築 不動産	運輸 郵便	製造	サービス	教育	官公庁	電気 ガス	その他
文学部全体	8 (2)	7 (2)	5	8 (3)	30 (8)	8	29 (6)	16 (3)	4	10 (3)	45 (14)	19 (6)	14 (7)	25 (12)	4	1

(思想文化学科)

業 種 専 修 課 程	印刷 出版	新聞	放送	広告	情報 通信	コンサルタント	金融 保険	商社 流通	建築 不動産	運輸 郵便	製造	サービス	教育	官公庁	電気 ガス	その他
哲学					3	4	1	1			1	1				
中国思想文化学																
インド哲学仏教学														1		
倫理学					1						1		1			
宗教学宗教史学		2			1		2 (1)	1			4 (2)	1		1 (1)		
美学芸術学			1	1	1 (1)		2 (1)				3	2 (1)	1 (1)			
イスラム学							1			1 (1)						
(思想文化学科 計)		2	1	1	6 (1)	4	6 (2)	2		1 (1)	9 (2)	4 (1)	2 (1)	2 (1)		

(歴史文化学科)

業 種 専 修 課 程	印刷 出版	新聞	放送	広告	情報 通信	コンサルタント	金融 保険	商社 流通	建築 不動産	運輸 郵便	製造	サービス	教育	官公庁	電気 ガス	その他
日本史学		1 (1)				1		2			3 (1)	1	3 (1)	3 (1)		
東洋史学		1	1		2		1	2		1	1	1		1	1	
西洋史学				1 (1)	1 (1)		3	3	1	1	7 (3)	1 (1)		2 (1)	1	
考古学				1	1	1		1			1 (1)			2		
美術史学				1	4		1				1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)		
(歴史文化学科 計)		2 (1)	1	3 (1)	8 (1)	2	5	8	1	2	13 (6)	4 (2)	4 (2)	10 (3)	2	

(言語文化学科)

業 種 専 修 課 程	印刷 出版	新聞	放送	広告	情報 通信	コンサルタント	金融 保険	商社 流通	建築 不動産	運輸 郵便	製造	サービス	教育	官公庁	電気 ガス	その他
言語学					1		1			1	5 (4)			1 (1)		1
日本語日本文学(国語学)	1			1	2 (1)		1				2	2	2 (2)			
日本語日本文学(国文学)	1 (1)	1		1 (1)	3 (1)		2				2	1 (1)	1	1 (1)		
中国語中国文学														1		
インド語インド文学																
英語英米文学	1	1	1	1 (1)			4 (1)	2		1	6 (1)	2 (1)	3 (1)	1 (1)		
ドイツ語ドイツ文学																
フランス語フランス文学											1				1	
スラブ語スラブ文学											1					
南欧語南欧文学								1								
現代文芸論			1													
西洋古典学					1									1		
(言語文化学科 計)	3 (1)	2	2	3 (2)	7 (2)		8 (1)	2	1	2	17 (5)	5 (2)	6 (3)	5 (3)	1	1

(行動文化学科)

業 種 専 修 課 程	印刷 出版	新聞	放送	広告	情報 通信	コンサルタント	金融 保険	商社 流通	建築 不動産	運輸 郵便	製造	サービス	教育	官公庁	電気 ガス	その他
心理学	1			1	2		4 (1)	2 (2)	2	1	1	3 (1)		3 (1)	1	
社会心理学	1				4 (2)	2	1	1 (1)		1 (1)		2	1	1 (1)		
社会学	3 (1)	1 (1)	1		3 (2)		5 (2)	1		3 (1)	5 (1)	1	1 (1)	4 (3)		
(行動文化学科 計)	5 (1)	1 (1)	1	1	9 (4)	2	10 (3)	4 (3)	2	5 (2)	6 (1)	6 (1)	2 (1)	8 (5)	1	

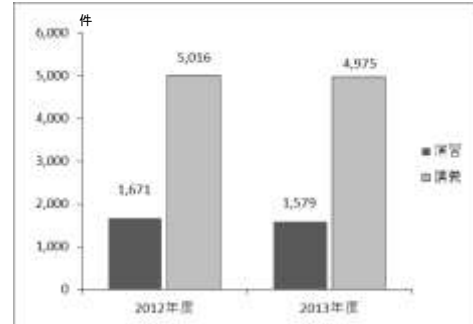
()内は、女子で内数

E 授業改善への取り組み

2009 年度より研究科・文学部の取り組みとして、専任および非常勤教員と各研究室の協力を得て、授業改善アンケートを実施している。集計作業は、教育研究情報管理室が行なっている。このうち 2012 年度・2013 年度に実施したアンケートの回答結果（[Q7]は除く）は下記の通りである。

なお、専攻ごと、学科ごとの集計も行なっているが、ここには、研究科・文学部全体の集計結果のみを掲載する。

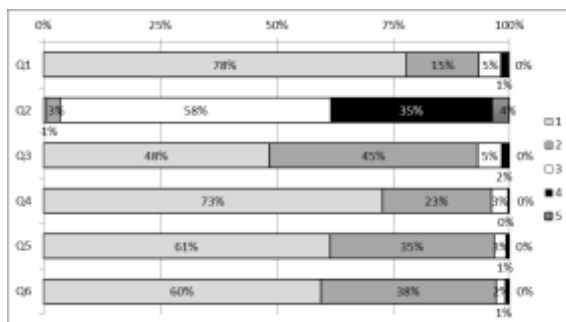
2012－2013年度 アンケート回答総数



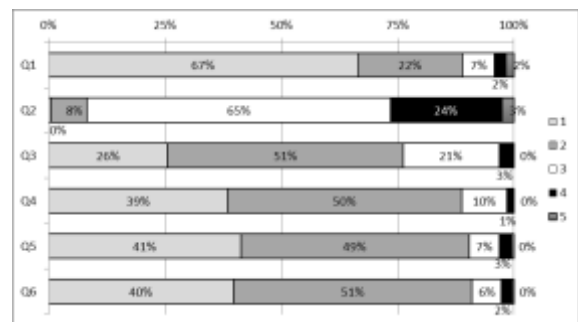
授業改善アンケート質問項目

- [Q1] あなたはこの授業にどれくらい出席しましたか？
 1- 80%以上 2- 79%～60% 3- 59～40% 4- 39%～20% 5- 20%未満
- [Q2] あなたにとって授業の難易度はどうですか？
 1- 易すぎる 2- やや易しい 3- ちょうどよい 4- やや難しい 5- 難すぎる
- [演習 Q3] 授業中、議論・質問の機会が適切に与えられていると思いますか？
 1- 非常に適切である 2- 適切である 3- どちらでもない 4- あまり適切でない 5- まったく適切でない
- [講義 Q3] 教員の講義技術（説明の仕方や板書など）について、どう思いますか？
 1- 非常に優れている 2- 優れている 3- どちらでもない 4- 劣っている 5- 非常に劣っている
- [演習 Q4] 授業中の質問に対する先生の対応はどうですか？
 1- 大変熱心である 2- 概ね熱心である 3- 普通である 4- あまり熱心でない 5- 不熱心である
- [講義 Q4] 授業はよく準備・計画されていると思いますか？
 1- とてもよく準備されている 2- よく準備されている 3- どちらでもない 4- やや準備不足である 5- 準備不足である
- [Q5] 授業を受講して、この授業がテーマとする分野への問題意識や関心は深まりましたか？
 1- 大いに深まった 2- やや深まった 3- どちらでもない 4- あまり深まらなかった 5- まったく深まらなかった
- [Q6] 授業を受講して、新たな知識や知力が身についたと感じますか？
 1- 非常に感じる 2- やや感じる 3- どちらでもない 4- あまり感じない 5- まったく感じない
- [Q7] 授業方法、設備などに関する改善要望や、その他意見、感想があれば下記および裏面に記入して下さい。（自由記述欄）

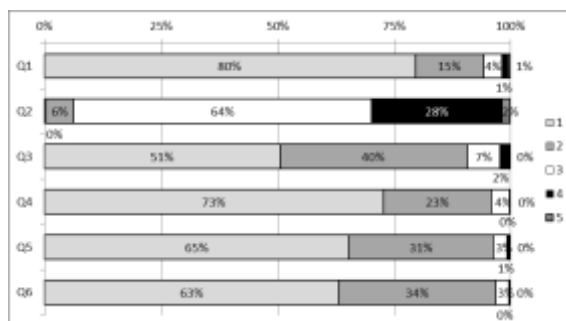
2012 年度演習 回答傾向



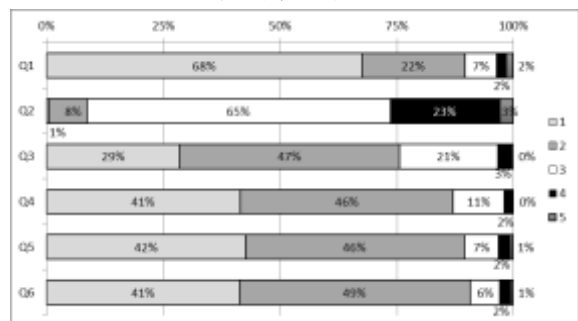
2012 年度講義 回答傾向



2013 年度演習 回答傾向



2013 年度講義 回答傾向



3. 国際交流

(1) 留学生教育と国際交流活動

A 留学生教育

人文社会系研究科には、毎年多数の留学生が正規の学生、もしくは研究生として在籍し、修士、博士の学位を取得するものも少なくない。しかし、本研究科の多くの専門分野においては、高度な日本語の能力と日本事情に通じていることが、学問の前提として必要となることから、人文社会系研究科・文学部では独自に、日本語教育を実施している。

また、これらの教育により、高度な日本語を身につけたとしても、それぞれの学問分野で論文を発表するのに十分な日本語ということになると、これは、また別の次元の問題である。修士論文にせよ、博士論文にせよ、それぞれの分野の日本人学生が、論文の日本語チェックをするのが実情である。多くの場合、入学当初チューター役を任じられた日本人学生が、ボランティアとして行っていた。こうした現状を改善すべく、本研究科においては、2000年度に、「三金会」（東京都立高校の校長 OB 有志の親睦会）会員諸氏のご協力のもと、博士課程に在学する外国人留学生で、博士論文の日本語の添削を必要とする者に対する支援を目的とした「留学生博士論文作成支援ネットワーク」がスタートした。また、2006年度から、留学生経費施策支援経費を用いて、TAによる修士論文の日本語校閲につき、謝金を支給することも制度化した。これらの支援を受けた留学生の中から、博士論文を完成させ、博士号を取得するなど支援策の成果がでている。本学が目標としている国際化推進には、より優秀な留学生を得ること、かつ、彼等をサポートするためにはどのような施策が有効であるのか、また、研究のために日本語が不可欠である専門分野においては、昨今の“国際化”の波にのまれることなく、自己の存在意義を認知させるため、どのようにアピールすべきであるのか、今一度、自己の足下を見直すことから始めることが必要であると考ええる。

教育以外の問題、すなわち生活上の問題はより深刻である。住居事情の悪さ、超低金利による財団系奨学金受給者数や金額の減少が著しい。研究室に個人の勉学の場所を確保することが難しい。こうしたさまざまな問題が、教育の現場に降りかかってくる。種々の方面にわたる、きめ細かな支援策が講じられるように願うものである。本研究科・文学部では「国際交流室」を設置し、留学生のための日本語教育及び相談業務を行なっているが、今後もその支援内容の充実をはかるよう努力していくものである。

国又は地域別外国人留学生数

各年度 5 月 1 日現在

国名又は地域名	平成 21(2009) 年度	平成 22(2010) 年度	平成 23(2011) 年度	平成 24(2012) 年度	平成 25(2013) 年度
アジア					
インドネシア		1	1		
韓国	62	70	69	66	60
シンガポール		2	2	3	4
スリランカ	1				
タイ		1	1		
台湾	15	12	11	11	11
中国	37	50	50	50	59
中国(香港)	1	1	1		2
マレーシア	3	1	1		
モンゴル	1	1	1	1	
小 計	120	139	138	131	136

中近東					
イラン			1		
イスラエル	1	1	1		1
トルコ	1	1	1		
小 計	2	2	3	0	1
アフリカ					
エジプト	1				
小 計	1	0	0	0	0
オセアニア					
オーストラリア	1	1			
ニュージーランド	1				
小 計	2	1	0	0	0
北米					
アメリカ合衆国	8	10	6	3	3
小 計	8	10	6	3	3
中南米					
パラグアイ	1	1	1	1	1
ブラジル		1	1	1	1
ベネズエラ		1	1	1	1
小 計	1	3	3	3	3
ヨーロッパ					
イギリス	1			1	
イギリス(香港)		1	1	1	1
イタリア	2	6	5	2	2
ウクライナ	2	1	1	1	1
オーストリア	1				
オランダ		1	1		
カザフスタン				1	1
キルギス		1		1	1
スイス	1	1	1	1	1
スウェーデン			1		
セルビア	1	1	1	1	1
チェコ			1	1	
ドイツ	2			1	
ハンガリー	1	1	1	1	
フィンランド		1	2	1	
フランス	3	4	1	2	2
ポーランド	1	3	2	1	3
ルーマニア				1	1
ロシア	3	2		3	2
小 計	19	23	18	20	16
合 計	154	178	166	157	159

B 留学生派遣

大学院人文社会系研究科・文学部は留学生を受け入れるばかりではなく、数多くの学生を海外に派遣してきた。その派遣先は、アジア、アメリカ、アフリカ、オーストラリア、ヨーロッパの国々のさまざまな大学である。

●海外へ留学・修学した学部生

年度	海外留学・修学者の合計	内訳			
		アメリカ	イギリス	カナダ	その他
平成22 (2010) 年度	海外修学 5名	3名		1名	スペイン 1名
	留学 2名		2名		
平成23 (2011) 年度	海外修学 10名	3名	2名		エジプト 2名 スイス 2名 スペイン 1名
	留学 3名	1名	2名		
平成24 (2012) 年度	海外修学 17名	6名	4名	1名	スイス 2名 ドイツ 1名 韓国 1名 中国 2名
	留学 7名	1名	2名	2名	韓国 1名 シンガポール 1名
平成25 (2013) 年度	海外修学 5名	2名			イタリア 1名 オーストラリア 1名 台湾 1名
	留学 5名	1名	2名		スイス 1名 ロシア 1名

●海外へ留学・修学した大学院生

年度	学生 身分	異動区分名	計	内訳												
				韓国	台湾	中国	アメリカ	アイルランド	イギリス	イタリア	オーストリア	スイス	ドイツ	フランス	ロシア	その他
平成22 (2010) 年度	修士 課程	休学 (海外修学)	2		1		1									
		留学	0													
		研究指導委託	0													
	博士 課程	休学 (海外修学)	54	2		3	8	1	4	2	2	1	9	16	1	ベトナム 1名 イラン 1名 トルコ 1名 フィンランド 1名 ベルギー 1名
		留学	9		2		1			1		2	1	2		
		研究指導委託	8		1	2				1			1	3		
平成23 (2011) 年度	修士 課程	休学 (海外修学)	0													
		留学	1								1					
		研究指導委託	0													
	博士 課程	休学 (海外修学)	50			5	11		3	2	3	1	7	12	2	タイ 1名 ベトナム 1名 イスラエル 1名 フィンランド 1名
		留学	7			1			1				1	4		
		研究指導委託	11									2		7		イラン 1名 中国(香港) 1名
平成24 (2012) 年度	修士 課程	休学 (海外修学)	1									1				
		留学	2									1		1		
		研究指導委託														
	博士 課程	休学 (海外修学)	48	1		3	10	1	8	2	3	2	5	7	4	タイ 1名 イスラエル 1名
		留学	10				1		1	1			4	1	1	フィンランド 1名
		研究指導委託	13	1					1			1	1	9		
平成25 (2013) 年度	修士 課程	休学 (海外修学)	3										2		カナダ 1名	
		留学														
		研究指導委託														
	博士 課程	休学 (海外修学)	38	2		3	7	2	8	1	2		4	6	1	インド 1名 メキシコ 1名
		留学	12		1		2		1			1	3	4		
		研究指導委託	11		1								2	6	1	ウズベキスタン 1名

C 次世代人文社会学育成プログラム

大学院人文社会系研究科・文学部では、2009年度から2012年度まで「次世代人文社会学育成プログラム」を実施した。これは日本学術振興会の「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」に採択されたことを受け、4年間に135名の学部学生、大学院生、若手研究者を世界各地の大学や研究機関に派遣した。選考を経て採択された応募者には、渡航費と滞在費が支給された。

これまで大学院人文社会系研究科・文学部が海外に派遣することのできる学生はきわめて限られていたが、これによって東アジア、ヨーロッパ、北米地域への留学や研修の可能性が大きく開かれることとなった。

●次世代人文社会学育成プログラム 国別派遣者数

派遣先 (国・地域名)	平成 21(2009)年度					平成 22(2010)年度					平成 23(2011)年度					平成 24(2012)年度				
	助教	PD	博士	修士	学部	助教	PD	博士	修士	学部	助教	PD	博士	修士	学部	助教	PD	博士	修士	学部
中国													1							
台湾			1									1								
韓国						1	1	1	2	1		1	1			1	4	1		
イラン									1						1					
インド																1				1
ベトナム																			1	
トルコ																	1	2		2
アジア地域			1			1	1	1	3	1		2	2		1	2	5	3	1	3
ロシア										1			2	2	1		1			
ロシア NIS 地域										1			2	2	1		1			
ポーランド											1									
ハンガリー											1									
セルビア													1							
オーストリア							1													
ドイツ							1			1		7	1		2		4	1	3	1
フランス			2				3	1	4	1		2	3	2			6	4	4	3
イタリア							1	1					3		1					
イギリス				1												1		4	2	1
チェコ																				1
デンマーク																				2
ヨーロッパ地域			2	1			6	2	4	2	2	9	8	2	3	1	10	9	9	8
アメリカ				1			2			1		3				1	2	1		
カナダ														1					2	2
北米地域				1			2			1		3		1		1	2	1	2	2
アルゼンチン									1						1					
ペルー															1					
コスタリカ															1					
キューバ																		1		
グアテマラ																	1			
南米地域									1						3		1	1		
ニューカドニア												1								
オセアニア地域												1								
合計			3	2		1	9	3	8	5	2	15	12	5	8	4	19	14	12	13
	5					26					42					62				

D 外国人研究員受け入れ

本学は、多くの海外諸機関と学術協定を結んでおり、研究者の交流も活発に行なわれている。
毎年、海外から研究者を文学部内規によって文学部外国人研究員として受け入れている。

●外国人研究員（国籍別人数）

（※文学部／大学院人文社会系研究科内規による）

国または地域名	平成 21(2009) 年度	平成 22(2010) 年度	平成 23(2011) 年度	平成 24(2012) 年度	平成 25(2013) 年度
韓国	15	11	8	4	7
台湾	2	2			
中国	12	7	6	13	14
インド					1
ベトナム		1			
オーストラリア	1	1		1	1
アメリカ合衆国	10	8	2	4	1
イギリス		1	1	1	1
イスラエル		1		1	
イタリア	5	4	1	6	1
ウズベキスタン		1			
スイス	1			1	
ドイツ	2	2	4	2	1
ハンガリー			1	1	
フランス	1			1	2
ブルガリア		1	1		1
ポーランド	1	1		1	4
ルーマニア	1				
ロシア				2	
計	53	41	24	38	34

(2) 国際交流協定

A 学術・学生関係

2014年3月1日現在

国名等	#	大学名	署名者及び署名年月日		協定の内容	
			本学	相手方の大学	専門分野	交流の対象
インド	1	デリー大学	総長、人文科学研究科 委員会委員長	副総長、事務局長	(派遣)インド哲学、仏教学、サンスクリット、インド史 (受入)日本仏教・中国仏教・インド仏教の思想と 歴史、インド哲学、サンスクリット、チベット研究、日本 研究	1. 大学院学生(協定書で学生の在籍研究科・ 学科を指定)
			1980/ 3/25 1983/ 3/25 1986/ 4/22 1992/ 7/ 8	1980/ 5/ 1 1983/ 5/ 2 1986/ 5/ 1 1992/ 7/20		
中国	2	北京大学	総長	校長	学術研究及び教育上関心を持つ分野	1. 教員及び研究者 2. 学生 3. 共同研究の実施 4. 講義、講演、シンポジウムの実施 5. 学術情報及び資料の交換
			1985/ 3/25 2003/12/17 2009/7/21 2012/ 7/12	1985/ 3/25 2003/11/ 7 2009/7/21 2012 7/14		
韓国	3	ソウル大学校	総長	総長	相互に関心を持つ分野	1. 教員 2. 学生 3. 学術情報及び資料の交換 4. 共同研究、シンポジウム及び講演の実施
			1990/ 8/17 1995/12/ 4 2000/12/21 2005/10/29 2012/7/25	1990/ 8/17 1995/12/14 2001/ 1/22 2005/10/29 2012/5/5		
	4	高麗大学校	総長	総長	学術研究及び教育上関心を持つ分野	1. 教員及び研究者 2. 学生 3. 共同研究の実施 4. 講義、講演、シンポジウムの実施 5. 学術情報及び資料の交換
			2005/10/28	2005/10/28		
イラン	5	テヘラン大学	総長	総長	(派遣)イスラム学、ペルシア語・ペルシア文 学、イラン史学等 (受入)日本語・日本文学、日本史学等	1. 教員及び研究者 2. 学生 3. 情報及び学術資料の交換 4. 共同研究、合同シンポジウム及び講義などの 活動
			1997/ 3/ 7 2002/ 8/12 2007/ 5/25 2009/ 9/19 2013/2/20	1997/ 4/23 2002/ 8/27 2007/ 6/12 2009/ 9/19 2013/4/28		
エジプト	6	カイロ大学	総長	学長	学術研究及び教育上関心を持つ分野	1. 教員及び研究者 2. 学生 3. 共同研究の実施 4. 講義、講演、シンポジウムの実施 5. 学術情報及び資料の交換
			1998/ 7/ 3 2005/ 6/27	1998/ 7/ 3 2005/ 7/11		
北米	7	イリノイ大学 アーバナ・シャンペーン校	総長	学長、理事会	学術研究及び教育上関心を持つ分野	1. 教員及び研究者 2. 学生 3. 共同研究の実施 4. 講義、講演、シンポジウムの実施 5. 学術情報及び資料の交換
			2001/7/3 2006/9/13 2012/1/10	2001/7/3 2006/10/4 2012/3/23		
イタリア	8	ローマ大学「ラ・サピエンツァ」	総長	総長	共通の関心を有する分野	1. 研究者 2. 研究プログラムへの参加 3. 学術情報及び学術刊行物の交換 4. 会議、セミナー、研究課題の講習会の開催
			1999/ 1/22 2004/ 5/31 2009/ 6/22	1999/ 4/30 2004/ 6/17 2009/ 7/ 7		
	9	パドヴァ大学	総長	学長	相互に関心を持つ分野	1. 研究者 2. 学生、大学院生 3. 学術情報及び資料の交換 4. 大学教育に付随する業務分野での活動 5. 学術会議や研究会への参加
			1993/ 1/ 7 1998/ 4/14 2003/ 3/14 2008/ 3/ 7 2014/1/24	1993/ 1/ 7 1998/ 4/24 2003/ 3/19 2003/ 4/14 2014/2/17		
	10	フィレンツェ大学	総長	学長	共通の関心を有する分野	1. 教員、研究者、大学院生 2. 学術情報及び学術刊行物の交換 3. セミナーやシンポジウムの共同開催
スイス	12	ジュネーヴ大学	総長	校長	両大学が関心を持つ分野	1. 教員及び研究者 2. 学生 3. 共同研究 4. 講義、講演、シンポジウムの実施 5. 学術情報及び資料の交換
			1997/ 7/ 2 2002/ 7/ 2 2007/ 6/ 6 2009/ 2/24 2012/11/ 5	1997/ 7/ 2 2002/ 7/22 2007/ 7/26 2009/ 3/ 20 2012/ 8/ 6		
ドイツ	13	ホッフム・ルール大学	総長	総長	日本文学、シナ学、ドイツ文学、語学・ 哲学、歴史学、美術史学、人文地理学	1. 教授・助教授・専任講師及び研究助手 2. 稀少な文献または資料の印刷物
			1969/5/23	1969/7/14		
フランス	14	エコール・ノルマル・スーペリユーール	総長、 人文科学研究科長	校長、国際交流部長	それぞれが関心を持つ分野	1. 教員及び研究者 2. 学生 3. 共同研究 4. 講義、講演、シンポジウムの実施 5. 学術情報及び資料の交換
			1993/ 2/23 1998/ 4/28 2003/ 3/24 2008/ 2/ 8、2/13	1993/ 3/ 3 1998/ 5/ 7 2003/ 3/31 2008/ 3/ 4		
オランダ	15	ワルシャワ大学	総長	総長	(派遣)スラヴ学 (受入)日本学	1. 研究者、研究留学生 2. 学術資料等の交換
			1978/4/1	1978/5/10		
ロシア	16	ロモノーソフ記念モスク国立大学	総長	総長	学術研究上共通の関心を持つ分野	1. 教員、研究者、大学院生、学部学生 2. 共同研究 3. 講義及びシンポジウムの開催 4. 情報及び学術刊行物の交換
			1998/ 4/ 7 2003/ 5/13	1998/ 4/ 7 2003/6/24		

B 部局間協定

国名等	#	大学名	署名者及び署名年月日		協定の内容	
			本 学	相手方の大学	専門分野	交流の対象
中国	1	北京大学歴史学系	総合文化研究科長、 人文社会系研究科長	歴史学系主任	相互に関心のある分野	学生の交流
			2006/ 7/21、8/3 2008/ 9/ 8、9/16 2011/7/1、7/5	2006/8/21 2008/9/19 2011/7/20		
	2	山東大学文史哲研究院・ 韓国研究中心	人文社会系研究科長・ 文学部長	研究院長・ 研究中心主任	双方に関心を持つ教育研究及びその他の 活動分野	1. 教員及び研究者 2. 学生 3. 共同研究の実施 4. 講義、講演、シンポジウムの実施 5. 学術情報及び資料の交換
			2003/7/17 2008/11/25 2014/ 1/31	2003/ 8/10、9/9 2008/11/25 2014/ 3/14		
	3	香港中文大学歴史学院	人文社会系研究科長	文科大学長	相互に関心のある分野	1. 教員及び研究者 2. 学部学生、大学院生
			2011/ 2/ 1	2011/ 1/ 27		
台湾	4	中央研究院人文社会科学 研究センター地理情報科 学研究センター	人文社会系研究科長	研究中心主任、執行長	双方に関心を持つ学術研究及びその他の 活動分野	1. 研究者 2. 学生 3. 共同研究の実施 4. 講演、シンポジウムの実施 5. 学術情報及び資料の交換
			2013/10/11	2013/10/22、10/21		
韓国	5	ソウル大学校人文大学	人文社会系研究科長	人文大学長	相互に関心のある分野	学生の交流
			2005/7/11 2012/6/4	2005/8/10 2012/5/5		
	6	高麗大学校文科大学	人文社会系研究科長	人文大学長	相互に関心のある分野	学生の交流
			2005/10/31	2005/10/28		
	7	釜山大学校人文大学	人文社会系研究科長	人文大学長	相互の必要と認める分野	1. 教員及び研究者 2. 学生 3. 学術情報及び資料の交換
			2005/1/13 2010/6/5 2011/ 9/22	2005/2/17 2010/2/17 2011/10/10		
	8	成均館大学校儒学・東洋 学部	人文社会系研究科長・ 文学部長	学部長	それぞれが関心を持つ学術研究領域	1. 教員及び研究者 2. 学生 3. 講義、講演、シンポジウムの実施 4. 学術情報及び資料の交換
			2006/11/2 2012/1/17	2006/11/11 2012/1/27		
モロッコ	9	アブデルモルク・エッサデー大学 文学部	総長、 人文社会系研究科長	総長、文学部長	共通の関心を有する分野	1. 研究者 2. 学生 3. 学術情報及び学術刊行物の交換 4. 会議及びシンポジウムの開催
			1998/3/24	1998/3/24		
			人文社会系研究科長	文学部長		
			2003/ 7/ 2 2008/ 5/23	2003/ 7/ 8 2008/ 6/10		
イギリス	10	マンチェスター大学 人文学部	人文社会系研究科長	人文学部長	双方に関心を持つ学術研究及びその他の 活動分野	1. 教員及び研究者 2. 学生
			2009/8/24	2009/9/7		
イタリア	11	ローマ大学「ラ・サピエンツァ」 東洋研究学部	人文社会系研究科長	東洋研究学部長	(派遣) イタリア語、イタリア文学 (受入) 日本語、日本文学 その他、双方の合意によって決められた分野	1. 研究者 2. 研究プログラムへの参加 3. 研究会、セミナー、研究課題の講習会 4. 学術情報及び出版物の交換
			2009/10/23	2009/11/5		
ドイツ	12	ベルリン自由大学	総合文化研究科長、 人文社会系研究科長	歴史文化学部長、 文学研究科長、 東アジア研究科長	相互に関心のある分野	学生の交流
			2013/2/13、2/19	2013/2/27		
フランス	13	エコール・ノルマル・スーペリール/ 文学・人文科学リヨン校	人文社会系研究科長	校長	相互に関心のある分野	1. 教員及び研究者 2. 学生 3. 共同研究の実施 4. 学術情報及び資料の交換
			1999/10/19 2002/ 9/25 2013/2/21	1999/10/13 2002/10/15 2013/3/20		
	14	フランス極東学院	人文社会系研究科長	学院長	それぞれが学術研究及び教育上関心を持つ 分野	1. 教官、研究者 2. 共同研究の実施 3. 講義、講演、シンポジウムの実施 4. 学術情報及び資料の交換
			2001/ 3/ 3 2006/ 3/13 2012/ 1/ 7	2001/ 3/13 2006/ 3/13 2012/ 2/ 9		

(3) 国際研究協力

A 海外渡航

平成24(2012)年度		平成25(2013)年度	
全体 209人 (外国出張 186人、海外研修 23人)		全体 234人 (外国出張 215人、海外研修 19人)	
教授	118 人	教授	141 人
准教授	52 人	准教授	64 人
助教	26 人	助教	17 人
講師	4 人	講師	4 人
外国人教師	3 人	外国人教師	3 人
外国人研究員	6 人	外国人研究員	5 人

B 外国人客員教員・研究員（客員）

＜外国人教員＞

フランス語フランス文学専修課程

シモン-オイカワ、マリアンヌ

(2006.10.16～2014.10.15)

南欧語南欧文学専修課程

アマート、ロレンツォ

(2011. 4.18～2015. 3.31)

中国思想文化学専修課程

廖 肇亨 (2011.10. 1～2013. 9.30)

哲学専修課程

ディーツ、リチャード

(2011.10. 1～2016. 9.30)

ドイツ語ドイツ文学専修課程

ケプラー タサキ、シュテファン

(2012.10. 1～2014. 9.30)

附属次世代人文学開発センター

ミュラー、アルバート チャールズ

(2013.11. 1～)

＜特任教員（旧外国人研究員（客員Ⅲ種））＞

附属次世代人文学開発センター

ミュラー、アルバート チャールズ

(2008.10.1～2013.9.30)

文化資源学専攻

コールドレイク、ウィリアム、ハワード

(2011.10.1～2014.9.30)

韓国朝鮮文化研究専攻

朴 鎮浩 (2012.10.16～2013.2.28)

韓国朝鮮文化研究専攻

李 賢熙 (2013.4.1～2014.2.28)

C 外国人教師

〔（ ）内は国籍〕

専修課程	平成20 (2008) 年度	平成21 (2009) 年度	平成22 (2010) 年度	平成23 (2011) 年度	平成24 (2012) 年度	平成25 (2013) 年度
英語英米文学	1 名	(英国)				
ドイツ語ドイツ文学	1 名	(独)				
フランス語フランス文学	1 名	(仏)				
南欧語南欧文学	1 名	(伊)				

4. 研究費の受け入れ

(1) 科学研究費補助金・助成金・一部基金

平成 24(2012)年度

【補助金】

研究種目	課題番号	研究代表者	平成24年度 直接経費	平成24年度 間接経費	研究課題名
基盤研究(S)	20223004	白波瀬 佐和子	12,400,000	3,720,000	少子高齢社会の階層格差の解明と公共性の構築に関する総合的実証研究
基盤研究(B)	20320029	小林 真理	1,900,000	570,000	行政構造改革が戦後日本の芸術文化政策の成果に与えた影響に関する研究
基盤研究(B)	20320052	沼野 充義	2,700,000	810,000	グローバル化時代における文化的アイデンティティと新たな世界文学カノンの形成
基盤研究(S)	21221010	水島 司	23,000,000	6,900,000	インド農村の長期変動に関する研究
基盤研究(S)	21223001	池田 謙一	18,600,000	5,580,000	国際比較のための価値・信頼・政治参加・民主主義指標の日本データ取得とその解析研究
基盤研究(A)	21242024	深沢 克己	9,400,000	2,820,000	ヨーロッパ・地中海世界における異宗教・異宗派間の相剋と融和をめぐる比較史研究
基盤研究(A)	21242026	佐藤 宏之	7,100,000	2,130,000	黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容
基盤研究(B)	21320005	関根 清三	3,100,000	930,000	哲学と宗教の対話——ヘブライズム・キリスト教とヘレニズムの交錯
基盤研究(B)	21320065	藤井 省三	2,500,000	750,000	東アジアにおける魯迅「阿Q」像の系譜
基盤研究(C)	21520468	肥田 周二	600,000	180,000	平安・鎌倉時代の真言・陀羅尼資料に見える連音変化現象の研究
若手研究(A)	21720044	太田 峰夫	500,000	150,000	二重帝国における音楽のナショナリズムと民族誌研究—ハンガリーの事例を中心に
若手研究(B)	21720222	牧原 成征	500,000	150,000	中世・近世移行期、北関東における地域社会構造の研究
基盤研究(A)	22242002	下田 正弘	7,600,000	2,280,000	国際連携による仏教学術知識基盤の形成 — 次世代人文学のモデル構築
基盤研究(B)	22320003	一ノ瀬 正樹	2,600,000	780,000	物質・生命・人格をめぐる哲学と自然科学の交差に関する理論的および実践的研究
基盤研究(B)	22320016	池澤 優	4,300,000	1,290,000	宗教概念ならびに宗教研究の普遍性と地域性の相関・相克に関する総合的研究
基盤研究(B)	22320065	大宮 勲一郎	3,400,000	1,020,000	ヒューマン・プロジェクト：人間学の文化史的視点からの再構築
基盤研究(B)	22320118	村井 章介	3,200,000	960,000	前近代東アジアの外交と異文化接触—日明関係を軸とした比較史的考察—
基盤研究(B)	22320138	六反田 豊	2,300,000	690,000	朝鮮半島の「水環境」をめぐる社会・経済・文化の歴史的諸相—漢江を中心として
基盤研究(B)	22320142	佐川 英治	3,200,000	960,000	最新の考古調査および礼制研究の成果を用いた中国古代都城史の新研究
基盤研究(B)	22330145	佐藤 健二	2,300,000	690,000	社会調査史の多角的な構築に関する総合研究
基盤研究(B)	22330166	武川 正吾	4,900,000	1,470,000	東アジアの地域統合と福祉レジームに関するポスト・オリエンタリズム的な国際比較研究
基盤研究(B)	22330181	唐沢 かおり	4,100,000	1,230,000	組織の責任判断に関する統合的研究
基盤研究(B)	22330199	横澤 一彦	2,100,000	630,000	情報統合としての共感覚的認知に関する認知心理学的研究
基盤研究(B)	23390127	甲斐 一郎	3,800,000	1,140,000	長寿社会における終末期医療のあり方 — 東洋型意思決定法の実証と実践および発信
基盤研究(C)	22520170	多田 一臣	500,000	150,000	『万葉集』の語彙の表現論的研究
基盤研究(C)	22520171	長島 弘明	900,000	270,000	和学系文人の和文作品についての研究
基盤研究(C)	22520231	阿部 公彦	600,000	180,000	西洋文化圏における「凝視」と「注意」の文化史的意義の研究
基盤研究(C)	22520298	逸身 喜一郎	700,000	210,000	ギリシャ悲劇の歌の、韻律にもとづく類型学
基盤研究(C)	22520299	塚本 昌則	900,000	270,000	メランコリーと幼年時代——フランス近代文学の根源を求めて
基盤研究(C)	22520351	高橋 孝信	800,000	240,000	タミル古代の詞華集『十の長詩』の批判的研究
基盤研究(C)	22520389	Muller Albert	900,000	270,000	東アジア漢英辞典の開発とウェブサービス作製
基盤研究(C)	22520457	月本 雅幸	700,000	210,000	平安時代の真言宗系訓点資料についての研究
基盤研究(C)	22520492	渡邊 明	500,000	150,000	統語演算における数の素性の役割
基盤研究(C)	22520742	勝田 俊輔	600,000	180,000	19世紀前半リムリック州における農民反乱の分析
基盤研究(C)	22520773	設楽 博己	600,000	180,000	人物造形品の集成と分析にもとづく弥生時代の儀礼と社会組織に対する基礎的研究
基盤研究(C)	22530532	赤川 学	600,000	180,000	人口減少に対応する社会制度構想の総合的研究
若手研究(B)	22720150	梅谷 博之	500,000	150,000	モンゴル語の派生と複合の研究
若手研究(B)	22720281	佐藤 昇	1,000,000	300,000	古代東地中海世界国際関係におけるエリート間の紐帯に関する研究
新学術領域研究(研究領域提案型)	231119707	横澤 一彦	1,600,000	480,000	視聴覚相互作用に基づく顔定特性性に関する認知心理学的研究
基盤研究(S)	23222001	斉藤 明	16,700,000	5,010,000	仏教用語の現代基準訳語集および定義的用例集(パワダコーシャ)の構築
基盤研究(A)	23242001	清水 哲郎	5,200,000	1,560,000	ケア現場の意思決定プロセスを支援する臨床倫理検討システムの展開と有効性の検証
基盤研究(A)	23242004	丸井 浩	8,600,000	2,580,000	「インド哲学諸派における＜存在＞をめぐる議論の解明」
基盤研究(A)	23251014	大貫 静夫	7,400,000	2,220,000	環日本海北回廊の考古学的研究
基盤研究(B)	23320008	横手 裕	1,500,000	450,000	宮内庁書機部所蔵道藏を中心とする明版道藏の研究
基盤研究(B)	23320029	小佐野 重利	3,600,000	1,080,000	西欧17世紀以降の王侯の絵画コレクションの形成における複製絵画の影響
基盤研究(B)	23320030	秋山 聡	5,300,000	1,590,000	美術と宝物の相関性についての比較美術史学的研究
基盤研究(B)	23320060	高橋 和久	3,400,000	1,020,000	英文学教育の理念・目的および方法に関する体系的な研究
基盤研究(B)	23320061	大橋 洋一	2,400,000	720,000	トランスアトランティックな視座からの「アメリカ文学」概念の成立と変容
基盤研究(B)	23320066	中地 義和	2,500,000	750,000	フランス近代作家の歴史意識
基盤研究(B)	23320082	大西 克也	2,900,000	870,000	中国語文法史の歴史的展開——構文と文法範疇の相関的変遷の解明
基盤研究(B)	23320166	熊木 俊朗	2,300,000	690,000	擦文文化期における環オホーツク海地域の交流と社会変動
基盤研究(B)	23320190	本田 洋	2,500,000	750,000	韓国社会の生き方に関する人類学的研究：グローバル化する競争社会における折衝と脱離
基盤研究(B)	23330003	葛西 康徳	1,800,000	540,000	ギリシア・ローマ民事訴訟再検討 — 裁判手続と法廷弁論 —
研究活動スタート支援	23820007	小野 泰教	1,100,000	330,000	清末士大夫官僚の対内・対外認識の新研究——郭嵩涛の「風俗」観念
研究活動スタート支援	23820009	村上 龍	400,000	120,000	ヴィクトール・バッシュ研究—ドイッチ哲学の受容に努める同時代の思想的環境にてらして
研究活動スタート支援	23820013	西脇 麻衣子	600,000	180,000	ドイッチ語における定性・不定性表現の通時的な研究
研究活動スタート支援	23820014	永澤 済	900,000	270,000	古文書からみる日本語史—方法論の開拓と展開
研究活動スタート支援	23820017	河原 弥生	1,100,000	330,000	ロシア帝国併合期の中央アジアにおけるタリカの研究
新学術領域研究(研究領域提案型)	24101503	唐沢 かおり	2,000,000	600,000	犯罪被害者の心の推論と支援的環境の構築
研究活動スタート支援	24820007	松浦 和也	1,200,000	360,000	アリストテレスの物体概念と運動概念の研究
研究活動スタート支援	24820008	加藤 隆宏	1,000,000	300,000	『プラトマーストラー・パースカラ註解』第一篇訳註研究
研究活動スタート支援	24820010	新田 昌英	1,200,000	360,000	近現代フランスにおける哲学と心理学の関係
研究活動スタート支援	24820011	梶尾 文武	1,200,000	360,000	昭和期ロマン主義の思想的・文学的展開に関する研究

【助成金】

研究種目	課題番号	研究代表者	平成24年度 直接経費	平成24年度 間接経費	研究課題名
基盤研究(C)	24520007	Dietz Richard	1,100,000	330,000	曖昧性の基礎づけ
基盤研究(C)	24520063	藤原 聖子	900,000	270,000	ポスト多文化主義における公教育と宗教の関係
基盤研究(C)	24520082	柳橋 博之	1,600,000	480,000	イスラームにおける伝承の形成と、その法学・思想との関係に関する研究
基盤研究(C)	24520101	小田部 胤久	1,000,000	300,000	感性の理論史——美学(史)の再構築のために
基盤研究(C)	24520102	安西 信一	1,400,000	420,000	庭園の美学的研究——内部と外部の二重性を中心に
基盤研究(C)	24520206	渡部 泰明	500,000	150,000	『新古今和歌集』の研究
基盤研究(C)	24520735	佐藤 信	1,500,000	450,000	古代地方官制における地域間交流の研究
基盤研究(C)	24520826	高山 博	1,600,000	480,000	ノルマン・シチリア王国農民の研究～アラビア語、ギリシャ語、ラテン語史料の検討から
挑戦的萌芽研究	24650130	佐藤 隆夫	1,800,000	540,000	陰影からの奥行き知覚における自己運動の貢献
挑戦的萌芽研究	24650577	阿久津 正幸	500,000	150,000	ウラマーによる近代科学の受容とムスリム社会の史的関係：信仰と科学の現象学的社会学
挑戦的萌芽研究	24652079	西村 義樹	1,200,000	360,000	構造化されたエリジテーションの開発と意味研究への応用
挑戦的萌芽研究	24653001	葛西 康徳	900,000	270,000	コモン・ローとヒンドゥー法の邂逅—ウィリアム・ジョーンズ研究
挑戦的萌芽研究	24653163	唐沢 かおり	800,000	240,000	社会心理学とフォーカスサイロロジーのあるべき生産的な関係に関する理論的・実証的検討
若手研究(B)	24720024	岩崎 陽一	1,000,000	300,000	インド新論理学派前期の言語理論思想史の解明—ラグナータまでの主要文献の調査と解説
若手研究(B)	24720292	若月 剛史	600,000	180,000	大正期から昭和戦前期における技術官僚の政治史的研究
若手研究(B)	24720320	佐々木 紳	900,000	270,000	近代オスマン帝国におけるムスリム知識人の帝国意識に関する基礎的研究
若手研究(B)	24720321	五十嵐 大介	900,000	270,000	中世エジプトのイスラーム寄進制度に見る黒死病(ペスト)の影響
若手研究(B)	23700465	星 秀夫	1,200,000	360,000	網膜で行われる「動きの予測」機能を生み出す神経回路の解明
若手研究(B)	23720361	藤崎 衛	1,000,000	300,000	中世教皇庁の行政組織編成に関する実証的研究

基礎研究(C)	23510342	堀岡 とし子	1,200,000	360,000	近代ドイツのバックラッシュとナショナリズム
基礎研究(C)	23520064	養輪 顕量	800,000	240,000	中世初期南都僧と禪宗の交流に関する思想的研究
基礎研究(C)	23520209	安藤 宏	900,000	270,000	近代文学関係定期刊行物の総合的研究
基礎研究(C)	23520369	松浦 純	1,200,000	360,000	初期資料から見るルターの思想構造
基礎研究(C)	23520370	金澤 美知子	1,200,000	360,000	近代ロシア文学の成立に見る記号としてのヨーロッパの「風景」
基礎研究(C)	23530949	高野 陽太郎	1,000,000	300,000	思考に対する外国語の妨害作用
挑戦的萌芽研究	236520202	高山 守	1,300,000	390,000	自由論に基づく、家族の全く新たな哲学的基礎づけの試み
挑戦的萌芽研究	23653221	横澤 一彦	900,000	270,000	視触覚相互作用に基づく観定位の生起要因に関する認知心理学的研究
基礎研究(C)	23520015	鈴木 聡	700,000	210,000	測定理論に基づく様々な論理の統一的基础付けとその哲学的意義
若手研究(B)	23720039	片岡 大右	600,000	180,000	ヨーロッパ、ネイション、文明——思想史的アプローチによる
若手研究(B)	23720070	田中 まさき(池田まさき)	500,000	150,000	ソ連農村ミュージカル映画の巨匠イヴァン・プイリエフ研究
若手研究(B)	23720172	辻部 亮子(藤川)	700,000	210,000	宮廷風恋愛詩における説得のレトリック分析を通じた「至純の愛」理念の再検討
若手研究(B)	23720176	竹内 恵子	900,000	270,000	亡命ロシア文学におけるアメリカ文化受容の諸相
若手研究(B)	23730269	和田 一哉	1,000,000	300,000	遼上国における児童労働と教育・経済開発へのパスベクティブ
基礎研究(C)	23520368	Marianne Simon-Oikawa	1,100,000	330,000	19—21世紀のフランスにおける詩と絵画の研究
基礎研究(C)	23520891	橋場 弦	1,500,000	450,000	古代ギリシアにおける暴力と社会秩序の比較文化的的研究
基礎研究(C)	23530625	出口 剛司	1,300,000	390,000	社会学の公共性とその実現可能性に関する理論的・学説史的基礎研究
基礎研究(C)	23530816	村本 由紀子	900,000	270,000	関係性の類型と拡張自己評価維持過程
挑戦的萌芽研究	23652081	小林 正人	500,000	150,000	中期・近代インド・アールリア語の通時的言語変異
若手研究(B)	23720174	加藤 有子	1,000,000	300,000	大戦間期ガリツアのポーランド系ユダヤ人作家、画家の芸術思想的系譜とモダニティ
若手研究(B)	23720379	國木田 大	700,000	210,000	環日本海地域における文化集団の食性変遷に関する研究
基礎研究(C)	23520366	塩川 徹也	1,000,000	300,000	『パンセ』と『キリスト教義教諭』—バスキルの著作の意味と価値
基礎研究(C)	24520367	小椋 彩	1,100,000	330,000	亡命ロシア文化におけるテキストと資格芸術に関する研究
若手研究(B)	24730301	島田 竜登	1,200,000	360,000	萌芽期熱帯産品輸出経済の研究:18世紀の南・東南アジアとオランダ東南アジアとオランダ東インド会社
挑戦的萌芽研究	24652020	高岸 輝	1,400,000	420,000	絵巻学の創成に向けた理論的基盤の構築
若手研究(B)	23730573	品田 瑞穂	900,000	270,000	協力関係の形成方略とその心理・認知的基盤の体系的検討
若手研究(B)	23730476	祐成 保志	1,000,000	300,000	ハウジング社会学の生成と展開に関する方法史的研究

【一部基金】

研究種目	課題番号	研究代表者	平成24年度 直接経費	平成24年度 間接経費	研究課題名
基礎研究(B)	24320004	榊原 哲也	4,100,000	1,230,000	ケアの現象学の具体的展開と組織化
基礎研究(B)	24330208	佐藤 隆夫	3,000,000	900,000	誘導色残像現象の総合的な検討——残像に皮質は関与するかー
基礎研究(B)	24320138	大杉 哲也	1,900,000	570,000	「アラブの春」の社会史的研究—エジプト「1月25日革命」を中心に—

平成 25(2013)年度

【補助金】

研究種目	課題番号	研究代表者	平成25年度 直接経費	平成25年度 間接経費	研究課題名
基礎研究(S)	21221010	水島 司	20,600,000	6,180,000	インド農村の長期変動に関する研究
基礎研究(A)	21424026	佐藤 宏之	6,100,000	1,830,000	黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容
基礎研究(B)	21320005	関根 清三	1,700,000	510,000	哲学と宗教の対話——ヘーゲル主義・キリスト教とヘレニズムの交錯
基礎研究(C)	21520468	肥爪 周二	700,000	210,000	平安・鎌倉時代の真言・陀羅尼資料に見る連音変化現象の研究
基礎研究(A)	22422002	下田 正弘	7,800,000	2,340,000	国際連携による仏教学術知識基盤の形成——次世代人文学のモデル構築
基礎研究(B)	22320003	一ノ瀬 正樹	2,700,000	810,000	物質・生命・人格をめぐる哲学と自然科学の交差に関する理論的および実践的研究
基礎研究(B)	22320142	佐川 英司	3,400,000	1,020,000	最新の考古調査および礼制研究の成果を用いた中国古代都城史の新研究
基礎研究(B)	22330145	佐藤 健二	2,500,000	750,000	社会調査史の多角的な構築に関する総合研究
基礎研究(B)	22330181	唐沢 かつお	2,900,000	870,000	組織の責任判断に関する統合的研究
基礎研究(B)	22330199	横澤 一彦	2,300,000	690,000	情報統合としての共感覚的認知に関する認知心理学的研究
基礎研究(C)	22520231	阿部 公彦	600,000	180,000	西洋文化圏における「凝視」と「注意」の文化史的意義の研究
基礎研究(C)	22520298	逸身 喜一郎	700,000	210,000	ギリシア悲劇の歌の、韻律にもとづき類型学
基礎研究(C)	22520351	高橋 孝信	700,000	210,000	タミル古代の詞集『十の長詩』の批判的研究
基礎研究(C)	22520492	渡邊 明	500,000	150,000	統語演算における数の素性の役割
基礎研究(C)	22530532	赤川 学	600,000	180,000	人口減少に対応する社会制度構想の総合的研究
基礎研究(S)	23222001	齊藤 明	15,700,000	4,710,000	仏教用語の現代基準訳語集および定義的用例集(バウッダコーシャ)の構築
基礎研究(A)	23242001	清水 哲郎	5,900,000	1,770,000	ケア現場の意思決定プロセスを支援する臨床倫理検討システムの展開と有効性の検証
基礎研究(A)	23242004	丸井 浩	8,600,000	2,580,000	「インド哲学諸派における＜存在＞をめぐる議論の解明」
基礎研究(A)	23251014	大貫 静夫	7,700,000	2,310,000	環日本海回廊の考古学的研究
基礎研究(B)	23260008	横手 裕	1,800,000	540,000	宮内庁書陵部所蔵道藏を中心とする明版道藏の研究
基礎研究(B)	23320029	小佐野 重利	4,200,000	1,260,000	西欧17世紀以降の王侯の絵画コレクションの形成における複製絵画の影響
基礎研究(B)	23320030	秋山 聰	4,900,000	1,470,000	美術と宝物の相関性についての比較美術史的学的研究
基礎研究(B)	23320060	高橋 和久	3,400,000	1,020,000	英文学教育の理念・目的および方法に関する体系的な研究
基礎研究(B)	23320061	大橋 洋一	2,300,000	690,000	トランスアトランティックな視座からの「アメリカ文学」概念の成立と変容
基礎研究(B)	23320066	中地 義和	2,500,000	750,000	フランス近代作家の歴史意識
基礎研究(B)	23320082	大西 克也	2,400,000	720,000	中国語文法史の歴史的展開——構文と文法範疇の相関的変遷の解明
基礎研究(B)	23320166	飯木 俊朗	2,400,000	720,000	據文文化期における環オホーツク海地域の交流と社会変動
基礎研究(B)	23320190	本田 洋	2,400,000	720,000	韓国社会の生き方に関する人類学的研究:グローバル化する競争社会における折衝と離脱
基礎研究(B)	23330003	葛西 康徳	2,400,000	720,000	ギリシア・ローマ民事訴訟再検討——裁判手続と法廷弁論——
基礎研究(B)	23390127	甲斐 一郎	2,800,000	840,000	長寿社会における終末期医療のあり方——東洋型意思決定法の実証と実践および発信
新学術領域研究(研究領域提案型)	24101503	唐沢 かつお	2,000,000	600,000	犯罪被害者の心の推論と支援的環境の構築
研究活動スタート支援	24820007	松浦 和也	1,100,000	330,000	アリストテレスの物体概念と運動概念の研究
研究活動スタート支援	24820008	加藤 隆宏	1,100,000	330,000	『プラフマーストラ・パースカラ註解』第一篇訳註研究
研究活動スタート支援	24820010	新田 昌美	1,100,000	330,000	近現代フランスにおける哲学と心理学の関係
基礎研究(A)	25243002	沼野 充義	4,800,000	1,440,000	越境と変容—グローバル化時代におけるスラヴ・ユーラシア研究の超越的枠組みを求めて
基礎研究(A)	25244036	設楽 博己	9,400,000	2,820,000	植物・土器・人骨の分析を中心とした日本列島農耕文化複合の形成に関する基礎的研究
基礎研究(A)	25257008	市川 裕	10,400,000	3,120,000	ユダヤ・イスラーム宗教共同体の起源と特性に関する文明史的研究
特別推進研究	25000001	白波瀬 佐和子	56,100,000	16,830,000	少子高齢化からみる階層構造の変容と格差生成メカニズムに関する総合的研究
新学術領域研究(研究領域提案型)	25119003	村上 郁也	21,800,000	6,540,000	こころの時間長・同期・クロックを作り出す認知メカニズムの解明
基礎研究(C)	22520076	菊地 達也	500,000	150,000	シーア派・スンナ派間の宗教論争に関する思想史的研究
基礎研究(C)	22520757	池田 嘉郎	600,000	180,000	「共和制の帝国」としてのソ連体制の成立

【助成金】

研究種目	課題番号	研究代表者	平成25年度 直接経費	平成25年度 間接経費	研究課題名
基礎研究(C)	25370044	Muller Albert	1,600,000	480,000	Contextual Chinese-English Dictionary of the Thirteen Classics
基礎研究(C)	25370160	平野 重美子	1,700,000	510,000	ジャンル・ヌーヴォーとしてのインド舞踊とロシア・バレエの出会い—多元主義の芸術
基礎研究(C)	25370209	長島 弘明	1,500,000	450,000	『古伏魔』の総合的研究
基礎研究(C)	25370338	野崎 敏	1,200,000	360,000	フランス・ロマン主義における「作者」像の成立と変容をめぐる総合的研究
基礎研究(C)	25370340	大宮 勘一郎	600,000	180,000	情動と技術の人間学的考察(ドイツ文学の場合)
基礎研究(C)	25370341	塚本 昌則	1,200,000	360,000	近代フランス文学における散文の研究
基礎研究(C)	25370465	梅谷 博之	600,000	180,000	モンゴル語の付属語の自立性に関する研究
基礎研究(C)	25370510	月本 雅幸	1,500,000	450,000	大日経疏の古訓点についての日本語学的研究
基礎研究(C)	25370764	吉田 伸之	1,300,000	390,000	近世品川宿村の分節的な社会—空間構造に関する基礎的研究
挑戦的萌芽研究	25580162	桜井 万里子	800,000	240,000	デルヴェニ・パピルスの解説・翻訳—古代ギリシアにおける多神教と一神教の関係

若手研究(B)	25770076	神田 祥子	800,000	240,000	夏目漱石初期・中期作品における表現の視覚性
若手研究(B)	25770123	乗松 亨平	700,000	210,000	現代ロシア文学・文化論におけるシニズムとナショナリズム
若手研究(B)	25770143	西脇 麻衣子	500,000	150,000	ドイツ語における否定概念表現の通時の研究—nichtとkeinの文法化を中心に
若手研究(B)	25770254	河原 弥生	1,000,000	300,000	18-20世紀中央アジアにおけるナクシュバンディー教団改革派の発展に関する研究
若手研究(B)	25780369	品田 瑞穂	1,400,000	420,000	協力を支える制載行動の成立基盤に関する研究
基盤研究(C)	25370011	緒住 光子	600,000	180,000	大乗仏教思想史における還元思想の意義の解明
若手研究(B)	25770126	中野 幸男	700,000	210,000	亡命ロシア文学の帰還とその受容—ティスボラト・ラウマ・視覚文化
基盤研究(C)	24520007	Dietz Richard	900,000	270,000	曖昧性の基礎づけ
基盤研究(C)	24520063	藤原 聖子	500,000	150,000	ポスト多文化主義における公教育と宗教の関係
基盤研究(C)	24520082	柳橋 博之	1,300,000	390,000	イスラームにおける伝承の形成と、その法学・思想との関係に関する研究
基盤研究(C)	24520101	小田部 風久	1,000,000	300,000	感性の理論史——美学(史)の再構築のために
基盤研究(C)	24520102	安西 信一	1,200,000	360,000	庭園の美学的研究——内部と外部の二重性を中心に
基盤研究(C)	24520206	遠部 泰明	500,000	150,000	『新古今和歌集』の研究
基盤研究(C)	24520735	佐藤 信	900,000	270,000	古代地方官衙における地域間交流の研究
基盤研究(C)	24520826	高山 博	1,300,000	390,000	ノルマン・シチリア王国農民の研究—アラビア語、ギリシャ語、ラテン語史料の検討から
挑戦的萌芽研究	24650130	佐藤 隆夫	1,200,000	360,000	陰影からの奥行き知覚における自己運動の貢献
挑戦的萌芽研究	24650577	阿久津 正幸	500,000	150,000	ウラマーによる近代科学の受容とムスリム社会の史的構造・信仰と科学の現象学的社会学
挑戦的萌芽研究	24652079	西村 義樹	500,000	150,000	構造化されたエリシテーションの開発と意味研究への応用
挑戦的萌芽研究	24653001	葛西 康徳	900,000	270,000	コモン・ローとヒンドゥー法の邂逅—ウィリアム・ジョーンズ研究
挑戦的萌芽研究	24653163	唐沢 かおり	900,000	270,000	社会心理学とフークサイコロジーのあるべき生産的な関係に関する理論的・実証的検討
若手研究(B)	24720024	岩崎 陽一	700,000	210,000	インド新論理学派前期の言語理論思想史の解明—ラグナータまでの主要文献の調査と解説
若手研究(B)	24720292	若月 剛史	500,000	150,000	大正期から昭和戦前期における技術官僚の政治史的研究
若手研究(B)	24720320	佐々木 紳	1,100,000	330,000	近代オスマン帝国におけるムスリム知識人の帝国意識に関する基礎的研究
若手研究(B)	24720321	五十嵐 大介	900,000	270,000	中世エジプトのイスラーム寄進制度に見る黒死病(ペスト)の影響
基盤研究(C)	23510342	姫岡 とし子	1,000,000	300,000	近代ドイツのバックラッシュとナショナリズム
基盤研究(C)	23520015	鈴木 聡	600,000	180,000	測定理論に基づく様々な論理の統一的基本付けとその哲学的意義
基盤研究(C)	23520064	養輪 顕量	500,000	150,000	中世初期南都僧と禪宗の交流に関する研究
基盤研究(C)	23520209	安藤 宏	900,000	270,000	近代文学関係定期刊行物の総合的研究
基盤研究(C)	23520366	堀川 徹也	1,200,000	360,000	『バネセ』と『キリスト教護教論』—バスキルの著作の意味と価値
基盤研究(C)	23520368	Marianne Simon-Oikawa	1,300,000	390,000	19—21世紀のフランスにおける詩と絵画の研究
基盤研究(C)	23520369	松浦 純	1,000,000	300,000	初期資料から見るルターの思想構造
基盤研究(C)	23520370	金澤 美知子	700,000	210,000	近代ロシア文学の成立に見る記号としてのヨーロッパの「風景」
基盤研究(C)	23520891	橋場 弦	800,000	240,000	古代ギリシアにおける暴力と社会秩序の比較文化的的研究
基盤研究(C)	23530625	出口 剛司	1,100,000	330,000	社会学の公共性とその実現可能性に関する理論的・学説史的基礎研究
基盤研究(C)	23530816	村本 由紀子	1,000,000	300,000	関係性の類型と拡張自己評価維持過程
基盤研究(C)	23530949	高野 陽太郎	700,000	210,000	思考に対する外国語の妨害作用
挑戦的萌芽研究	23652081	小林 正人	600,000	180,000	中期・近代インド・アリア語の通時的言語要覧
挑戦的萌芽研究	23653221	横澤 一彦	700,000	210,000	視触覚相互作用に基づく顔定位の生起要因に関する認知心理学的研究
若手研究(B)	23720039	片岡 大右	600,000	180,000	ヨーロッパ、ネイション、文明——思想史的アプローチによる
若手研究(B)	23720070	田中 まさき	500,000	150,000	ソ連農村ミュージカル映画の巨匠イヴァン・ブリエフ研究
若手研究(B)	23720174	加藤 有子	500,000	150,000	大戦間期ガリツィアのポーランド系ユダヤ人作家・画家の芸術思想的系譜とモダニティ
若手研究(B)	23720176	竹内 恵子	1,300,000	390,000	亡命ロシア文学におけるアメリカ文化受容の諸相
若手研究(B)	23720361	藤崎 衛	1,000,000	300,000	中世教皇庁の行政組織編成に関する実証的研究
若手研究(B)	23720379	國木田 大	700,000	210,000	環日本海地域における文化集団の食性変遷に関する研究
基盤研究(C)	24520367	小椋 彩	1,100,000	330,000	亡命ロシア文化におけるテキストと資格芸術に関する研究
若手研究(B)	24730301	島田 竜登	1,300,000	390,000	萌芽期熱帯産品輸出経済の研究:18世紀の南・東南アジアとオランダ東インド会社
若手研究(B)	23730476	祐成 保志	1,000,000	300,000	ハウジング社会学の生成と展開に関する方法的な研究
挑戦的萌芽研究	24652020	高岸 輝	700,000	210,000	絵巻学の創成に向けた理論的基盤の構築
基盤研究(C)	23520505	三谷 恵子	800,000	240,000	言語の維持と変容についての総合的研究—スラヴ系少数言語の実証的分析をふまえて—
基盤研究(C)	24520050	高橋 晃一	800,000	240,000	瑜伽行派における、空・無我の思想と利他行・衆生救済の関係に関する考察

【一部基金】

研究種目	課題番号	研究代表者	平成25年度 直接経費	平成25年度 間接経費	研究課題名
基盤研究(B)	24320004	榊原 哲也	3,100,000	930,000	ゲアの現象学の具体的展開と組織化
基盤研究(B)	24330208	佐藤 隆夫	2,600,000	780,000	誘導色残像現象の総合的な検討 —残像に皮質は関与するか—
基盤研究(B)	25284036	邊辺 裕	4,500,000	1,350,000	睡堂文化・視覚文化の歴史からみた「1968年」:日本戦後史再考
基盤研究(B)	25284066	藤井 省三	2,700,000	810,000	現代東アジア文学史の国際共同研究
基盤研究(B)	25284121	大津 遼	4,400,000	1,320,000	律令制の人民支配の総合的研究—日唐宋令の比較を中心に—
基盤研究(B)	25285177	山口 勲	1,800,000	540,000	謙遜と自己高揚の普遍性に関する13ヶ国比較研究:脳生理学的基盤の検討を含めて
基盤研究(B)	24320138	大穂 哲也	1,300,000	390,000	「アラブの春」の社会史的研究—エジプト「1月25日革命」を中心に—

(2) 奨学寄附金

平成24(2012)年度

受入れ教員	寄附者名	寄附金額(円)	寄附目的
島蘭 進	公益財団法人 上廣倫理財団	35,000,000	上廣死生学講座の運営
六反田 豊	公益財団法人 住友財団	800,000	東京大学 コリア・コロキウム事業に対する助成
下田 正弘	財団法人 仏教伝道協会	4,500,000	SAT－英訳大蔵経デジタル化事業
下田 正弘	公益財団法人 全日本仏教会	20,000,000	大蔵経データベース事業に対する支援
佐藤 健二	一般財団法人 MRAハウス	916,000	洪沢敬三の「実業」「実学」思想の研究の実施
川原 秀城	武田科学振興財団	800,000	平澤歩氏『医方類聚』に引かれる五行説の考察－杏雨書屋所蔵の刊本・抄本を中心として－に対する2012年度杏雨書屋研究奨励として
下田 正弘	人文情報学研究所	3,300,000	次世代大蔵経研究を支援するため
大学院人文社会系研究科	田代 靖尚	10,000,000	①「バリアフリー用エレベーター」及び「バリアフリー的リフォーム」(3,000,000円) ②「障害学生支援福祉基金」(7,000,000円)
蓑輪 顕量	公益財団法人 克念社	500,000	文学部インド哲学仏教学研究室の「仏教、特に日本仏教の研究」に対する助成
蓑輪 顕量	木山 眞悟	1,000,000	インド哲学仏教の研究、特に日本仏教の研究を推進するため
英語英米文学研究室	山口 和子	100,000	文学部英文研究のため(東大基金)
大学院人文社会系研究科	黒田 哲也	100,000	文学部の教育研究環境整備および基礎研究のため

平成25(2013)年度

受入れ教員	寄附者名	寄附金額(円)	寄附目的
榊原 哲也	公益財団法人 上廣倫理財団	50,000,000	上廣死生学講座の運営
大学院人文社会系研究科	株式会社 集英社	12,000,000	「東京大学文学部 集英社公開講座」の開設にかかる経費(2年間分)として
六反田 豊	公益財団法人 住友財団	800,000	東京大学 コリア・コロキウム事業に対する助成
小佐野 重利	株式会社 TBSテレビ	1,000,000	International Conference(19-21 September 2013) “線(Sen) : On Lines and Non-Lines” の開催経費のため
下田 正弘	公益財団法人 全日本仏教会	20,000,000	大蔵経データベース事業を中心とする人文社会学研究活動支援のため
佐藤 健二	一般財団法人 MRAハウス	1,000,000	洪沢敬三記念研究・社会還元事業の支援(国際シンポジウムおよび洪沢敬三没後50年記念研究プロジェクトの実施)
ドイツ語ドイツ文学研究室	大宮 勘一郎	300,000	ドイツ語ドイツ文学研究の推進のため
深沢 克己	公益社団法人 日本港湾協会	1,000,000	「マルセイユを中心とするフランス港湾都市の歴史地理学的・社会文化史的研究」
蓑輪 顕量	公益財団法人 克念社	500,000	文学部インド哲学仏教学研究室の「仏教、特に日本仏教の研究」に対する助成
長島 弘明	株式会社 雄松堂書店	15,065	国文学研究室所蔵和漢古典籍の研究のため
池澤 優	公益財団法人 上廣倫理財団	600,000	山本栄美子氏「個人主義的倫理観と間柄的倫理観の比較文化研究－ピーター・シンガーと和辻哲郎の言説を手がかりに考える－」のため
下田 正弘	一般財団法人 人文情報学研究所	3,300,000	人文情報学を踏まえた人文学研究ならびに次世代大蔵経研究のため

5. 教育・研究支援組織

(1) 図書室

■蔵書数（平成26年3月末現在）

図書	1, 100, 164冊（うち洋書 569, 617冊）
年間受入図書冊数	17, 468冊（うち洋書 6, 609冊）（平成25年度）
所蔵雑誌種数	13, 264種（うち洋雑誌 4, 534種）
年間受入雑誌種数	1, 470種（うち洋雑誌 971種）（平成25年度）

平成8年度から本研究科・学部予算措置による図書重点整備補助費によって蔵書の充実を図っている。

■図書資料の蔵置

現在、文学部の蔵書は図書委員会の管理・運営の下で、以下の書庫や研究室に分散配架しているが、いずれも書架スペースの狭隘化問題を抱えている。この問題を解決するために、図書委員会では、3年後に完成予定の新図書館（アカデミック・プラザ）構想に対応して、2号館の製本雑誌を新図書館に移管し、そのあとに研究室図書や1号館図書を搬入する再配置計画を検討中である。

1) 2号館図書室

おもに雑誌のバックナンバー、参考図書、本研究科授与の新制（1991年度～）博士論文（課程博士）、マイクロ資料を配架。

2) 3号館図書室

研究室図書の一部と叢書全集・史資料を配架。

3) 貴重書庫（法文2号館書庫内）

宗教学宗教史学・美学芸術学・日本史学・国語学・国文学・インド哲学仏教学・西洋史学・言語学の各研究室の貴重書を配架。各研究室等でも相当数の貴重書を保存。

平成15年度に新貴重書庫・準貴重書庫を新設し、スペース不足は解消された。また、保存環境についても、定期清掃の実施や温湿度管理の徹底・防虫剤の定期的取り替え等によって大幅に改善されつつある。

4) 各研究室

研究室の図書資料は、法文1号館・法文2号館・文学部3号館・総合研究棟（弥生地区）・アネックス（浅野地区）・赤門総合研究棟の各研究室に配架。

5) 法文1号館書庫

稀用図書、考古学関係の発掘調査書、宗教学・社会学研究の調査資料、一部研究室の卒業論文等を配架。

6) マイクロ資料室（法文1号館書庫内）

中国思想文化学・インド哲学仏教学・日本史学・東洋史学・西洋史学・国語学・国文学・中国語中国文学・インド語インド文学の各研究室及び次世代人文開発センターのマイクロ資料を配架。

■サービス体制

1) 3号館図書室

総合受付サービス窓口で、貸出・文献複写・現物貸借依頼受付、他大学・機関への紹介状の発行、各種申請の受付、及びレファレンスサービス等を行っている。

開室時間は、月曜～金曜の午前9時～午後9時（短縮期間中は午前9時～午後5時）、土曜の午前10時～午後6時（短縮期間中は閉室）。OPAC用パソコン5台、コピー機2台を設置。

2) 2号館図書室

主として2号館図書室に配架された雑誌・博士論文・マイクロ資料の閲覧・複写・貸出サービスを行っている。

開室時間は、月曜～金曜の午前9時～午後5時。

OPAC用パソコン3台、コピー機2台、マイクロリーダープリンタ2台を設置。

ここに本研究科・学部の図書業務（資料の受入・登録・製本・目録）を行う事務室がある。

■最近の利用状況

	平成24年度	平成25年度
・入館者数	24,156人	26,965人
・貸出冊数	15,604冊	14,441冊
・文献複写	166,682枚	154,884枚
・参考業務	4,261件	4,874件
・相互協力	3,449件	3,016件

(2) 漢籍コーナー

漢籍コーナーは、文学部の各研究室が所蔵する「漢籍」（中国前近代資料）を集中配架・共同利用するために、1967（昭和42）年法文2号館2階に設置された（利用開始は1970年）。2004年2月に赤門総合研究棟6階に移転し、現在に至る。中国思想文化学・中国語中国文学・東洋史学・韓国朝鮮文化・インド哲学仏教学・言語学の6研究室が所有・購入する漢籍（一部日本・朝鮮関係資料などを含む）を受け入れており、孤本・稀覯本など多数の貴重な資料や、小倉文庫（朝鮮語資料・朝鮮漢籍）・瀧田文庫（日本禅籍）といったコレクションを合わせると、10万冊を超える書籍を所蔵している。

漢籍を伝統的な四部分類法で配架した「書庫」、貴重書を保管する「貴重書庫」、および参考図書・利用者用PC・複写機を備えた「閲覧室」で構成されている。主に本学部の中国学専攻者に研究・教育・学習の場として活用されているほか、漢籍は様々な学問分野においても研究資料となるため、他学科・他部局・学外の学生や研究者にも利用されている。とりわけ従来所蔵データは電子化されていなかったが、近年着実にOPACへの遡及入力が進んでおり、2014年度頃を目処にほぼ全ての遡及入力が完了する予定である。これら環境整備の進展によって学内のみならず学外からも利用の便が増し、利用者数も増加している。

運営・管理は中国思想文化学・中国語中国文学・東洋史学・韓国朝鮮文化・インド哲学仏教学・言語学の6研究室の代表教員などで構成される「漢籍コーナー運営委員会」が行い、業務全般は教務補佐員が担当している。

2012～13年度も継続的に図書を受け入れており、関連研究室の購入図書や科研費購入図書を中心に年1,000冊程度のペースで蔵書が増えているほか、文学部の支援を得て損傷の激しい線装本の補修を行うことができた。膨大な蔵書に対して修繕できる冊数は限られているとはいえ、ここ数年は優先度の高いものから順に継続して修繕を進めており、古い蔵書の保存状況も徐々に改善している。2011年の東日本大震災でも、書庫の移動式書架では落下防止バーの作動によって被害はごく軽微なものにとどまり、早期に平常へと復帰することができた。さらなる災害対策は課題となるが、現状良好な資料保存環境を維持できていると言える。

これほどの量と質を備えた漢籍専門図書室を学部内に持つのは全国でも稀であり、明治以来の中国学の伝統を継承しつつアジア研究に力を入れてきた本学部ならではの施設である。今後も引き続き文学部の研究教育拠点として漢籍コーナーの整備・充実に努めていきたい。ただし近年は出版数の増加・電子資料の普及など「漢籍」の実情が変動しており、Web検索や外部利用者の増加など漢籍コーナーの状況も変わってきた。したがって今後の課題は、漢籍を資産として管理・保全しながらも、資源として多様な学問分野の研究・教育に活用していく、という二つの責務をバランスよく果たしていくことにあるだろう。

(3) 国際交流室

1975年（昭和50年）4月、年々増加する外国人留学生に対応するため、文学部に「外国人留学生相談室」が開設され、留学生指導担当の外国人留学生アドバイザーが就任した。当時、東大の中でこのような施設を有していたのは、文学部のみであった。その後、国際交流の気運が高まるにつれ、全学レベルで国際交流委員会が設置された。これとともに、1985年（昭和60年）に、「外国人留学生相談室」は「国際交流室」と改称されて、文学部の国際交流委員会に所属することとなった。また、1992年4月には日本語教育が開始された。

2013年5月1日現在、国際交流室は、留学生指導担当講師1名、日本語教育担当専任講師1名、同非常勤講師2名及び事務補佐員2名の計6名で構成され、人文社会系研究科・文学部に在籍する159名の外国人留学生ならびに2012年及び2013年度に在籍した合計72名の外国人研究員に対して、研究・修学に関する一般的な指導と助言を行うとともに、日常生活上のさまざまな相談にも応じている。

2013年5月1日現在、人文社会系研究科の博士課程に66名、修士課程に43名、研究生として35名、特別聴講学生1名、文学部に学部正規生11名、特別聴講学生3名の外国人留学生が在籍している。国籍・地域別にみると、その数は25ヶ国に及び、人数の内訳は韓国60名、中国59名、台湾11名、シンガポール4名、アメリカ合衆国及びポーランド各3名、中国（香港）、イタリア、フランス及びロシア各2名、イギリス（香港）、イスラエル、ウクライナ、カザフスタン、キルギス、スイス、セルビア、バラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、及びルーマニア各1名となっている。

人文社会系研究科における留学生の多様化に対応するため、国際交流委員会及び国際交流室が対処しなければならない課題は、多数ある。現在に至るまで、国際交流委員会及び国際交流室はこれらの課題に取り組んできたが、未解決の難問は少なくない。以下に、それらの課題の一部を列挙するが、長年懸案事項と言われながら、未だ解決を見ていない宿舎の問題は、深刻である。

1. 留学生受け入れのための規則の改正（定員等）、指導教員の負担の問題。
2. 宿舍確保の問題、奨学金問題の改善。
3. 日本語教育の充実、日本語担当教員の定員増。
4. 入国管理体制強化への対応。特に、オーバードクターの在留資格の問題。

[国際交流室日本語教室の活動]

大学院人文社会系研究科に所属する外国人留学生の日本語教育に関する業務を行っている。具体的には、日本語学力試験の実施（新規の外国人研究生の日本語力を測るとともに授業のプレースメントテストとしても活用する）、日本語の授業および個人指導、作文集の作成、日本語関係の図書・視聴覚教材の管理・貸し出し等に当たっている。

主な活動である日本語の授業は、年2回の外国人研究生入学時期に合わせて各学期に開講し、毎学期10科目を週1コマずつ補講授業として行っている。授業時間は、学生が専門科目と並行して受講できるように専門の講義の時間帯に準じて設定している。ただし、日本語能力試験1級程度の日本語力を有する留学生が多いという当研究科・学部の実質上、授業はすべて中級以上である。対象は、主に外国人研究生を含めた当研究科・学部所属の留学生であるが、受講は任意である。受講者は外国人研究生が中心であるが、修士・博士課程所属の大学院生も毎学期少数ながら受講している。当研究科所属の外国人研究員、外国人教師、及び学生や研究員の家族等の受講希望者も、レベルが合えば受け入れている。また、他学系の日本語教室には上級クラスの授業が少ないという事情もあり、所属の異なる研究科の外国人留学生の受講を許可することもある。

2012年度、2013年度の学期ごとの開講科目は読解Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、文章表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（以上夏・冬共通）と、口頭表現A、B、漢字学習Ⅱ（夏学期）、日本事情、読解Ⅳ、漢字学習Ⅰ（冬学期）で、受講者数は2012年度夏学期31名、冬学期38名、2013年度夏学期38名、冬学期39名であった。

また、夏休み後半の9月には学期の授業とは別個に受講者を募り、短期間の集中授業も実施している。これは特に試験等をせず、ある程度の日本語力があれば、受け入れている。2012年度は、「文法と文型」、「文章の書き方」、「口頭表現」、「発音・アクセント」（以上各4コマ）、「和歌で学ぶ古文」（8コマ）、2013年度には、「文法と文型」、「日本文化・社会を学ぶ」、「口頭表現」、「発音・アクセント」（以上各4コマ）、「『竹取物語』を読む」（8コマ）を実施した。受講者数は2012年度17名、2013年度20名であった。

講 師 **寺田 徳子** TERADA, Noriko

1. 略歴

1972年3月	立教大学文学部史学科卒業
1978年	朝日カルチャーセンター日本語講師養成講座修了
1980年	日本語教育学会日本語講師養成講座修了
1980年4月	日本語教育学会日本語講師養成講座教務担当 ～1981年3月
1980年9月	国際学友会日本語学校非常勤講師 ～1983年9月
1980年10月	拓殖大学語学センター日本語コース非常勤講師 ～1983年9月
1983年10月	マドラス大学印日センター客員教授（国際交流基金より派遣） ～1986年6月
1986年8月	アジア学生文化協会留学生日本語コース非常勤講師 ～1989年3月
1986年9月	外務省アジア太平洋地域外交官日本語研修計画非常勤講師 ～1989年7月
1989年4月	大東文化大学別科非常勤講師 ～1992年3月
1989年9月	国際交流基金日本語国際センター外交官コース非常勤講師 ～1997年6月
1992年4月	東京大学文学部・人文社会系研究科講師 ～現在

2. 主な研究活動

主要業績

著書 『しっかり学ぼう日本語基礎』山下暁美氏と共著・双文社 467頁 1997

3. 主な教育活動

(1) 日本語教育に関する業務一般

1) 日本語授業の授業計画の作成

各学期の授業及び集中授業の計画を作成する。非常勤講師と話し合い、必要に応じて科目や内容を決定する。

2) 新規外国人留学生への学力試験の実施

当研究科の外国人研究生の日本語力をはかるため、当日本語教室独自の試験を実施している。

3) 個人指導

留学生として当研究科・学部・学部に在籍している学生は誰でも利用できる。学生の要望に応じて予約制で受け付け
るが、取り扱う内容は、日本語に関する質問から、ゼミ発表の練習、レポート・論文の添削まで様々である。利用
者は正規の大学院生が多い。

4) 作文集の作成

年度末に一年間の日本語教室で書かれた作文・小論文および投稿作品をもとに、作文集『ぎんなん』を発行して
いる。以前は学期ごとの発行であったため、最新号は28号である。

5) 講師会の開催

日本語の授業では、それぞれの授業の担当者の連携が大切であるため、定期的に非常勤講師と話し合う講師会
を開き、そこで話し合ったことを授業計画に生かすようにしている。

6) その他

日本語教室の所有する図書・教材等の貸し出し。日本語学習に関するアドバイス等。

(2) 日本語授業

1) 通常授業

2012・13年に担当した科目は以下の通りである。特に期間が限定されたものは〔 〕に記した。レベルを設定し
た科目が多いが、専門科目と並行して受講する学生のために柔軟な対応を心がけている。

- ① 読解Ⅰ(中級)： 初級知識の定着と中級読解能力の養成を目的とする。書き言葉の語彙や文型の定着も図る。
- ② 読解Ⅱ(上級)： より長い文章の内容や要点を把握させる。また、読みのスピードアップも図る。
- ③ 文章表現Ⅰ(中級)： 作文の基本的な知識と、研究に役立つ文章の書き方を指導する。
- ④ 文章表現Ⅱ(上級)： 論文・レポート等、アカデミックライティングの指導を行う。
- ⑤ 漢字学習Ⅰ・Ⅱ(中級～上級)： 非漢字圏の学生はもとより漢字圏の学生も対象とし、日本語としての漢字
の読み書き、漢字語彙の使い方等を定着させる。
- ⑥ 口頭表現B〔夏学期〕： 日本語によるプレゼンテーション能力の向上をめざす。
- ⑦ 読解Ⅳ〔冬学期のみ〕： 外国人研究生の大半が大学院への進学をめざしていることから、受験のための読解
練習を行う。

2) 夏期集中授業

夏休みに開講した5～6科目のうち、担当した科目について記す。

2012年度

- ① 文法と文型： 日本文でよく使われる文型の意味と使い方、留学生の苦手とする文法事項を具体的に指導。
- ② 文章の書き方： わかりやすさ、文章の流れを意識した文章の書き方を指導。

2013年度

- ① 文法と文型： 留学生の苦手とする文法事項、助詞相当語(「～において」等)の使い方、敬語の使い方等。
- ② 日本文化・社会を学ぶ： 現代日本社会に関する随筆を読んだり、DVD等を見たりして感想を話合った。

◇ 主要学内委員

国際交流委員会オブザーバー

講 師 **安田 京子** YASUDA, Kyoko

1. 略歴

1978年3月	早稲田大学法学部卒業
1981年6月	ハーバード・ロー・スクールLL.M.コース修了
1991年2月～1994年3月	東京大学留学生センター留学生相談室非常勤相談員
1996年4月～1997年3月	東京大学文学部国際交流室教務補佐員
1997年4月	東京大学文学部講師(外国人留学生アドバイザー)

2. 主な教育活動

(1) 留学生等相談関係

1) 勉学関係

大学院進学に関する相談、休学に関する相談、入学希望者の来室・電話・手紙・e-mail 等による相談、教員からの大学院研究生及び外国人研究員受け入れに関する相談、国費留学生の転科、帰国に関する相談、等。

2) 生活関係

奨学金に関する相談、授業料納入に関する相談、宿舎に関する相談、ビザ取得及びビザ変更に関する相談、精神的問題に関する相談及び専門家へのリファー、等。

(2) 教務関係

1) 留学生全般関係

外国人留学生名簿作成、奨学金申請の取りまとめ、各種留学生用宿舎の入居申請の取りまとめ、大学宿舎オンライン申請のチェック、見学旅行・懇親会の通知発送及び参加申し込みの取りまとめ、等。

2) 大学院外国人研究生関係

入学願書配布及び受け付け、審査結果通知発送、入学手続き（4月及び10月）、入学ガイダンスの実施（4月及び10月）、研究期間延長手続き、研究事項証明書発行、チューターの選定依頼及びその取りまとめ、等。

3) 国費留学生関係

大学推薦・国内採用による国費留学生の申請手続き、各種手続き、等。

4) 外国人研究員関係

外国人研究員の申請受け付け・許可証明書及び身分証明書の発行、研究者用宿舎のオンライン入居申請のチェック、等。

(3) その他

外国人留学生・外国人研究員との懇親会（6月）、外国人留学生見学旅行の引率（11月）、国費外国人留学生、交流協会奨学金留学生、文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者の在籍簿取りまとめ（毎月）、東京大学外国人留学生特別奨学制度受給者の在籍確認取りまとめ（4月、7月、10月及び1月）、留学生の在留資格認定証明書交付申請用紙の配布、申請書類作成及び取りまとめ、在留資格期間更新手続関係書類の作成、大学院人文社会系研究科外国人研究者の在留資格認定証明書交付申請手続き、等。

◇ 主要学内委員

国際交流委員会オブザーバー

(4) 教育研究情報管理室

教育研究情報管理室（以下、情報管理室と呼ぶ）は、本研究科・本学部をとりまく以下の状況を踏まえ、2009年度に設置された。

すなわち、大学法人化に伴い中期目標・中期計画書や、その達成度等の評価判断の目安とされる現況調査表・教育研究実績報告書を定期的に作成し提出することが義務づけられた一方、社会からは教育研究に関わる各種情報を公開し、また教育研究内容の広報活動を推進することが強く要請されている。

その要請に応えるために、情報管理室は、特に教育研究に関わる情報・資料等を部局として集積し、かつ電子データとして一括管理し、上記のような報告書・資料の作成作業の効率化を図るとともに、機密性の高い情報を管理する上での高度のセキュリティ対策を構築していくように努力している。

なお、情報管理室の設置に伴い、a)視聴覚教育センター b)情報メディア室は分室となった。

構成員： 室長 小佐野重利（2012年度）、木村英樹（2013年度）

講師 石川洋

事務補佐員 松原道子

a) 視聴覚教育センター

特任専門職員 菅家健一

教務補佐員 木村京子

事務補佐員 小国浩一

b) 情報メディア室

助教 西川賀樹

事務補佐員 堂前香織

1. 略歴

- 1986 年 3 月 東京大学文学部東洋史学専修課程卒業
- 1986 年 4 月 東京大学大学院人文科学研究科東洋史学専攻修士課程入学
- 1989 年 3 月 東京大学大学院人文科学研究科東洋史学専攻修士課程修了
- 1989 年 4 月 東京大学大学院人文科学研究科東洋史学専攻博士課程進学
- 1994 年 3 月 東京大学大学院人文科学研究科東洋史学専攻博士課程単位取得のうえ退学
- 1994 年 4 月 東京大学文学部助手
- 1995 年 4 月 東京大学大学院人文社会系研究科助手（漢籍コーナー担当）
- 2010 年 4 月 東京大学大学院人文社会系研究科講師（教育研究情報管理室・視聴覚教育センター担当）

2. 主な社会活動

- (1) 他機関での講義等
関東学院大学法学部、「教職課程外国史 1・2」、2012.4～2014.3
- (2) 学会
国内、中国社会文化学会、一般会員、2012.4～2014.3
国内、東方学会、一般会員、2012.4～2014.3
国内、史学会、一般会員、2012.4～2014.3

A 視聴覚教育センター

総合図書館の 5 階にある文学部視聴覚教育センターは、1964 年、図書館の「総合化」の一環として、語学教育と非文字資料の収集・利用を行うことのできる施設の設置・運営が文学部に委託されて発足したものであり、語学教材や映画・古典芸能等の音声・映像資料を作成・収集して全学の利用に供するとともに、本研究科・学部視聴覚設備の整備、視聴覚機器やパソコンを必要とする教育・研究のサポート、本研究科で行われるさまざまな講演やシンポジウム等の録画とアーカイブ化を行っている。

2009 年 4 月より視聴覚教育センターは、本研究科・学部の教育研究情報管理室の分室として位置づけられた。これにより教育研究情報管理室・情報メディア室・大学院係・教務係等とより緊密な連携をはかり、本研究科・学部全体の教育研究体制を見渡しながら、視聴覚面での研究・教育に貢献していく環境が整えられた。

2009 年度には国の補正予算による財政支援も得て、視聴覚教育センター内の教室の大改修を行った。これは、センター第 1・第 2 教室と称していた 2 語学教室（各 25 名収容）を、設置されていた LL 装置が 20 年も前に導入されたカセットタイプ式のもので、近年ではあまり利用されなくなっていたため、仕切りの壁を撤去して 40 名収容の 1 教室（「視聴覚教育センター第 1 教室」と改称）に改修し、床は OA フロアとし、OHC やプロジェクター、BD、DVD プレーヤー等を導入して、語学教室としてだけでなく、多目的な用途に利用できる演習室としたものである。これにより、さまざまな視聴覚資料を活用した講義・演習・研究会等が可能になったばかりでなく、学生のプレゼンテーション・スキルの向上にも資することができるようにし、さらに 2010 年度末には床下に LAN ケーブルを敷設してインターネットを利用した授業も出来るようにした。改修後は、語学授業の他、映像を活用する美術史学や国文学の授業、受講生がインターネットを使用する授業などで利用されている。以上の改修については、2011 年 4 月 22 日発行の『学内広報』No.1411 に「文学部視聴覚教育センター改修のお知らせ」を掲載して全学に広報している。

なお、こうした施設の更新を機に、2010 年 10 月には文学部教授会において、1984 年制定の「東京大学文学部附属視聴覚教育センター運営委員会規程」及び当センター利用規定・利用細則が全面的に見直され、新たに「東京大学大学院人文社会系研究科・文学部視聴覚教育センター規則」「同利用規程」「同利用細則」が定められた。

視聴覚教育センターの重要な業務に、法文 1・2 号館の教室に備え付けられた視聴覚機器の保全・更新と、それらの機器を利用した授業のサポート（教員への技術指導、機器の故障への対応など）がある。

法文 2 号館の 2 つの大教室（1 番大教室・2 番大教室）については、2010 年に 2 番大教室、2012 年に 1 番大教室のプロジェクターをそれぞれ更新したほか、2010 年に 1 番大教室から 2 番大教室への中継を簡便に行うための通線（映像・音声）工事を行うなど、通常授業だけではなく学会・講演会・シンポジウムの会場としても活用できるよう視聴覚設備の整備をはかっている。ただ、両教室の視聴覚設備はシステム制御部が更新時期を迎えており、不具合も

発生し始めている。デジタル化の進む PC・AV 機器に対応するためにも基本的なシステム設計の見直しを含む設備更新が必要となってきた。

法文 1 号館の教室（小・中規模の講義室・演習室）では、一部かなり早い時期から AV 機器が導入されてきたが、それだけに以後の AV 設備整備が（予算の都合もあり）継ぎ足し的にとなり、教室間で設備が統一されておらず、使い勝手の悪さ、機器の老朽化といった問題が生じている。ここ数年の設備改修・更新の結果、やや状況は改善されたとはいえ、PC・AV 機器の変化や利用者からの要望に十分に対応できていないというのが現状である。授業や研究会などでの PC・AV 機器の使用が一般化、高度化する中で、教員・学生からの AV 設備に対する要望・要求は今後いっそう高まることは間違いがないが、一方で文学部の予算状況は厳しくなっていくことが予想されている。教員の利用状況や要望を把握し、限られた予算を有効に生かし、計画的に AV 設備の更新・整備を進めていくことが求められている。

視聴覚教育センターでは、文学部で行われるさまざまな講演やシンポジウム、退職教授の最終講義等の録画も行っており、2012・2013 年度には、文学部公開講座、ホームカミングデイ文学部企画講演会、布施学術基金公開講演会、集英社講座、オープンキャンパスでの模擬講義、最終講義、ノーベル文学賞受賞者ルークレジオ氏講演会などの撮影を行った（このうち作家古井由吉氏講演会（ホームカミングデイ企画）は広報委員会を通して東大TVで公開されている）。ただ、人手不足のため、これらの貴重な映像資料の整理・アーカイブ化はなかなか進んでいないのが現状である。また、著作権・肖像権等の問題もあり、映像資料をどのように活用するかも今後の課題となっている。

またセンター開設以来今日まで、8,000 点近い音声・映像資料を蓄積しており、語学教材を含むこれらの資料は、文学部の教育・研究活動に利用されているほか、センター内の自習室において、全学の学生・教職員の利用に供している。総合図書館において音声・映像資料を視聴する設備があるのは視聴覚教育センターだけであり、ソフト・ハード両面で、総合図書館における非文字資料（音声・映像）に関わる機能を担っている。研究・教育での音声・映像資料の利用が拡大する中で、こうした面でもセンターの果たす役割は大きい。

B 情報メディア室

l_cnc@l.u-tokyo.ac.jp

WEB : <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/MediaCenter/>

情報メディア室は、文学部の計算機システムおよびキャンパス LAN の運用管理を行うことを目的として、1996 年に設立された。現在、情報メディア室では、次の 2 つの業務を行っている。

1. 文学部内の情報システムに関する運用管理
2. 多分野交流演習事務局

1. 情報システムの運用管理

情報メディア室は、視聴覚教育センターと協力して、文学部の教育・研究用計算機システム、キャンパス LAN システムの運用管理を行っている。

1) 教育・研究用計算機システムの運用

文学部は、教育研究用計算機システムとして、Sun Ultra WS×1 台、HP ProLiant Server×7 台、Dell PowerEdge×1 台を管理・運用し、文学部・大学院人文社会系研究科構成員に対して、電子メールサービス、ホームページサービスをはじめとする一般的なアカウントサービスを提供している。本システムは、約 500 ユーザを抱えている。

2) 文学部 WWW サーバの運用

情報メディア室では、文学部全体の WWW サーバシステムの運用を行っている。WWW サーバからは、事務局や広報委員会、また個々の各研究室・教官・学生からの発信情報があり、これらに対して共通の情報発信システムを提供している。

3) 文学部 LAN の NOC (Network Operation Center) 機能

情報メディア室では、文学部のネットワーク運用センター (NOC: Network Operation Center) 機能として、以下の業務を行っている。

- (a) 基幹ネットワークの良好な通信状態の維持
- (b) webmaster/postmaster 機能

- (c) ネームサーバの運用
- (d) DHCP による IP アドレス自動割当サービス
- (e) 電話アクセスポイントサービス

を行っている。

(a) 基幹ネットワークの運用

情報メディア室では、文学部の構成員が居住する主要な建物である、法文 1 号館、法文 2 号館、文学部 3 号館、農学部総合研究棟、アネックス、赤門総合研究棟におけるローカルエリアネットワークの基幹部分（研究室や教官居室の外部）の管理運用を担当している。これらの建物における、物理的なネットワーク配線、ネットワーク通信を中継するために設置されたハブやスイッチなどの機器を運用管理し、研究室からキャンパス LAN である UTnet までの通信経路における良好な通信サービス提供のための活動を行っている。

(b) webmaster/postmaster 機能

情報メディア室では、広報委員会および事務局と協力し、インターネット上の文学部の問い合わせ、苦情等の窓口業務を行っている。文学部が提供する各種情報に関する問い合わせは、web-master@l.u-tokyo.ac.jp 宛に届くことが多い。このメールを、学部内の担当部署への転送、広報委員会への連絡業務を行っている。また、セキュリティ上の問題や、文学部内から外部に向けてなんらかの被害をもたらす動作を行った場合の苦情等は、postmaster@l.u-tokyo.ac.jp 宛に届くことが多いが、ここに届いた連絡事項の対応も行っている。

(c) ネームサーバサービス

文学部 LAN が機能するために必要な、ネームサーバ（DNS: Domain Name Server）の運用を行っている。

(d) DHCP による IP アドレス自動割当サービス

文学部 LAN に接続するコンピュータに対して、IP アドレスの自動割当サービスを、すべての建物において実施している。これによって、コンピュータに明示的なアドレス割当を行わなくとも、文学部 LAN に接続して利用できる利便性を提供している。

(e) 電話アクセスポイントサービス

文学部 LAN に対して、自宅等から電話回線によってアクセスする環境を提供している。現在、ISDN、PHS（PIAFS32, PIAFS64）、56K アナログモデムによるアクセスを提供している。

4) 文学部 LAN の NIC (Network Information Center) 機能

情報メディア室では、文学部 LAN のネットワーク情報センター（NIC: Network Information Center）機能として、l.u-tokyo.ac.jp 以下のドメイン名割当管理、IP アドレス割当管理を行っている。

5) セキュリティ対応

近年、大学内もインターネット経由による不正アクセス等が多くあり、学部内でも多くの被害がでている。そのため、

- ・文学部のメールサーバにウィルスチェックソフトウェアを導入し運用
- ・文学部 LAN 全体を囲むファイアウォールを設置・運用
- ・各種セキュリティ対策情報を学部内に配布

など、セキュリティ対応業務を行っている。

6) 文学部内の研究活動支援

情報メディア室では、文学部構成員全体への情報サービスだけでなく、文学部の各教員の研究教育活動の支援として、各研究プロジェクトの情報発信支援、研究用コンピュータの運用管理、連絡用のメーリングリストの提供なども積極的に行っている。

7) 文学部内データセンタの運用

各教員の教育実績や研究業績をまとめ、点検評価に用いるためのデータベースシステムの運用管理を行っている。

2. 多分野交流演習事務局

情報メディア室では、多分野交流演習の事務局を担当し、多分野交流演習の予算管理・執行業務、多分野交流演習ニュースレターを定期的に発行している。

3. 助教の活動

助 教 **西川 賀樹** NISHIKAWA, Yoshiki

1. 略歴

在職期間 2010年4月～現在

研究領域 オペレーティングシステム・システムソフトウェア

6. 情報化と広報

(1) IT化

人文社会系研究科・文学部の情報化（IT化）は過去2年間着実に進歩した。人文社会系研究科・文学部ホームページをリニューアルし、CMS（Content Management System）の導入を行った。それにより、特別な知識を必要とせずにホームページの編集を行えるようになったことで、広報委員会・事務局・研究室等からさらに多くの情報が発信されるようになった。また、Webサイトを持つ研究室の数も着実に増え続け、アクセス数は増加の一途をたどっている。

IT化の負の側面としては、迷惑メールやウイルスメールなどの問題があるが、情報メディア室を中心として防御体制を固めており、これまでのところサーバに大きな被害を受けることはなかった。今後、ファイアウォールや迷惑メール対策のさらなる強化といったセキュリティ対策も検討している。また、アクセスポイントの設置を行って全学無線LANサービス（utroam）に参加し、利用者の利便性の向上を進めた。

(2) 広報活動

人文社会系研究科・文学部の広報活動は広報委員会が中心になって行っている。主な活動は、1) 多言語化されたホームページによる情報発信、2) 文学部進学者のための『進学ガイダンス』の作成、3) 高校生向けのオープンキャンパスの企画・実行、4) ホームカミングデイの企画・実行、5) 広報用カレンダーの作成、6) 全学広報委員会との連携などであり、多岐にわたっている。

このような広報活動により、オープンキャンパスやホームカミングデイでは多くの方に参加いただいているが、さらに刊行物の発行やホームページの充実などにより、人文社会系研究科・文学部の活動が在校生、卒業生、一般の方々に問わず、広くご理解頂けるように努力を続けている。特に、ホームページは9言語に対応するように拡充し、人文社会系研究科・文学部が目指す国際化を体現している。

<2012・2013年度オープンキャンパス企画>

2012年度

参加者数：模擬講義530名、学生による発表125名、見学ツアー190名、教員著書展示(学生による著書紹介)450名、文学部多言語ホームページ体験コーナー190名、総計1,485名（いずれも概数）

企 画：1. 文学部の概要説明

2. 模擬講義 熊野 純彦(倫理学)

「時間と永遠一時のあいだを生きる、時の流れを超えて考える」

沼野 充義(現代文芸論)

「世界は文学でできている？—詩や小説が何の役に立つのか？」

3. 学生による発表 文学部在学学生「海外へ飛び出そう！文学部学生が語る世界」

4. 文学部見学ツアー

ツアー ①考古学研究室、三号館図書室

②三号館図書室、考古学研究室

③中国語中国文学研究室、社会心理学研究室

④社会心理学研究室、中国語中国文学研究室

⑤文学部散策ツアー

5. 教員著書展示（学生による著書紹介）

6. 文学部多言語ホームページ体験コーナー

2013 年度

参加者数：模擬講義 380 名、学生による発表 180 名、見学ツアー100 名、教員著書展示(学生による著書紹介)・質問コーナー・文学部多言語ホームページ体験コーナー等 500 名、総計 1,160 名 (いずれも概数)

企 画：1. 文学部の概要説明

2. 模擬講義

唐澤 かおり (社会心理学)

「社会的影響の心理学：No といえない私？」

安藤 宏 (日本語日本文学)

「小説はみずから「小説」であることを演技する」

3. 学生による発表

文学部在学学生「海外へ飛び出そう！文学部学生が語る世界」

4. 文学部見学ツアー

ツアー ①社会学研究室、三号館図書室

②三号館図書室、社会学研究室

③中国思想文化学研究室、美術史学研究室

④美術史学研究室、中国思想文化学研究室

5. 教員著書展示 (学生による著書紹介)・質問コーナー・文学部多言語ホームページ体験コーナー等

<2012・2013 年度ホームカミングデー企画>

2012 年度

参加者数：講演およびシンポジウム 153 名

企 画：1. 講演

古井 由吉 作家、ドイツ文学者

「翻訳と創作と」

2. シンポジウム「文学部というところ」

古井 由吉 作家、ドイツ文学者

安藤 宏 (国文学)

中地 義和 (フランス語フランス文学)

大宮 勘一郎 (ドイツ語ドイツ文学)

2013 年度

参加者数：講演

55 名

企 画：1. 講演

青柳 正規 文化庁長官、名誉教授 (文化交流)

「ソンマ・ヴェスヴィアーナ発掘調査について」

7. 公開講座

(1) 布施学術基金公開講演会

布施学術基金公開講演会「東洋の文化」第 20 回、第 21 回

布施学術基金公開講演会は、故布施郁三博士から人文社会系研究科・文学部に寄付された布施学術基金による、もっとも中心となる事業の一つであり、「東洋の文化」という共通テーマで毎年 1 回開催されている。

第 20 回は 2012 年 5 月 24 日 (木) 午後 5 時～6 時 30 分、文学部一番大教室において、本学名誉教授木村清孝氏 (インド哲学仏教学) を講師として招き、「華嚴思想の光と影」と題してご講演を頂いた。木村氏は、東アジア世界で広く受容された『華嚴経』は仏のさとりの世界を表わすといわれ、宇宙歌劇の趣きをもつことを示され、それに基づき、壮大な世界観にたつ華嚴経学が成立した。『華嚴経』と華嚴思想とは本来別物であり、時には支配の論理として、利用されたことを影の部分としてお話頂いた。

第 21 回は 2013 年 5 月 23 日 (木) 午後 5 時～6 時 30 分、本学名誉教授久保正彰氏 (西洋古典) をお招きし、「偶然と必然のたわむれ」と題してご講演を頂いた。この表題を初めて用いたのは、昭和 33 年であったが、以来五十年余にわたって何故か偶然と必然の問題は、念頭を離れる事が無かった。ところが、平成 6 年(1994)、偶然にアルト版『ホメロス全集』(1517)に触れ、その古書の欄外余白の注記者ホイエル(1651-89)を訪ねる探求の道は、古代を離れギリシャを離れ、さらに西洋から極東の港長崎へ、そしてついには故郷讃岐の蘭学者たちの群れへと、私を導いた。その道々での出会いは偶然の賜物と思うが、その無数の出会いに恵まれてこそ今回の『回帰』があった事に気づくとき、偶然の影は消え必然の姿が現れるのだとお話された。

(2) 東京大学コリア・コロキウム

東京大学大学院人文社会系研究科韓国朝鮮文化研究専攻においては、教育研究活動を行うとともに、社会に対して当該地域に関する様々な情報を発信したいという希望のもと、2003年度から標記のコロキウムを開催している。本コロキウムは、激動を続ける韓国朝鮮およびこの地域をとりまく北東アジア情勢に対応し、あらたな提案を行ってゆくためには、同地域に関する理解を一層深めることが要請されるとの考えから企画されたものである。このような観点から、当コロキウムでは韓国朝鮮および周辺地域に関わる様々な分野の専門家、外交官、官僚、政治家、研究者、社会活動家などを東京大学に招き、忌憚の無い意見表明をお願いし、質疑応答を行うことで理解を一層深める機会を社会に向けて創出してゆくことを目的としている。講演は年に数回行っている。講演の内容については、『東京大学コリア・コロキウム講演記録』として年度ごとに発行している。なお、本コロキウムは公益財団法人住友財団の助成事業として運営されている。2012-2013年度の開催の実績は以下のとおりである。

2012年度

第1回 2012年10月25日(木) 18時30分～20時

講演者：永島 広紀 氏(佐賀大学准教授)

講演題目：近代日本は「朝鮮文化財」をいかに〈発見〉〈収集〉〈保存〉したか？

第2回 2012年11月8日(木) 18時30分～20時

講演者：中川 雅彦 氏(アジア経済研究所 動向分析研究グループ長)

講演題目：朝鮮労働党の自力更生論

第3回 2012年12月6日(木) 18時30分～20時

講演者：嶋 陸奥彦 氏(東北大学名誉教授)

講演題目：“移動”の視点で見る韓国社会—村と親族の組織を通して—

第4回 2013年1月31日(木) 18時30分～20時

講演者：李 香鎮 氏(立教大学教授)

講演題目：食べて歌って愛するコリア—韓国大衆文化の社会学的考察—

第5回 2013年2月21日(木) 18時30分～20時

講演者：朴 鎮浩 氏(ソウル大学校副教授・東京大学特任准教授)

講演題目：日本語の「ノダ」文と韓国語の「것이다」構文をめぐって

2013年度

第1回 2013年10月31日(木) 18時30分～20時

講演者：伊藤 幸司 氏(山口県立大学准教授)

講演題目：松園寺内文庫の誕生とその変遷

第2回 2013年11月21日(木) 18時30分～20時

講演者：金 成垣 氏(東京経済大学准教授)

講演題目：福祉国家化以降の韓国福祉国家——後発国の模索

第3回 2014年1月23日(木) 18時30分～20時

講演者：川原 秀城 氏(東京大学教授)

講演題目：朝鮮儒学概観

第4回 2014年2月6日(木) 18時30分～20時

講演者：李 賢熙 氏(ソウル大学校教授・東京大学特任教授)

講演題目：最近の訓民正音論議と関連したいくつかの問題

(3) ところ公開講座

東京大学文学部で附属北海文化研究常呂実習施設の所在する北海道北見市(旧・常呂町)において2000年より公開講座を開催している。現在まで通算では17回になるが、地元自治体と共催での公開講座としては16回開催している。講師は基本的に文学部の教員であるが、一部他研究科の教員にも参加していただき、幅広い話題提供を心がけている。最近では、従来の一般向け以外に、常呂高校に於いて高校生を対象とした講演もおこなっている。(講師所属は講座開催時のもの)

◆第16回 東京大学文学部公開講座

<常呂高校特別講座>

2012年10月5日(金) 13:30 - 14:40 北海道常呂高校(共催)

「時間の永遠 一時のあいだを生きる、時を超えて考える」

熊野 純彦（東京大学 大学院人文社会系研究科 教授）

<常呂公開講座>

2012年10月5日（金） 18:30 - 21:00 常呂町公民館

「仏教の目指したもの 一心を見つめる」

蓼輪 顕量（東京大学 大学院人文社会系研究科 教授）

「論語読みは論語をどう読むか」

小島 毅（東京大学 大学院人文社会系研究科 教授）

◆第17回 東京大学文学部公開講座

<常呂高校特別講座>

2013年10月11日（金） 13:30 - 14:40 北海道常呂高校（共催）

「右か左か、東か西か 一日中比較表現論」

木村 英樹（東京大学 大学院人文社会系研究科 教授）

<端野公開講座>

2013年10月11日（金） 18:30 - 21:00 端野町公民館

「他者」の持つ力 ～社会的影響の心理学」

唐沢 かおり（東京大学 大学院人文社会系研究科 教授）

「文化とまちづくり ～保存と活用の葛藤」

小林 真理（東京大学 大学院人文社会系研究科 准教授）

(4) 東大文学部 集英社公開講座

東京大学文学部と（株）集英社との共催による公開講座「ことばを読む ひとを知る」は、一般読書人を対象に、本学部教員（あるいは名誉教授）と、（株）集英社の招聘した作家とを組み合わせ、12回（各講演者1回ずつ）の講演を一講座として括ったものである。そのねらいは、人文社会学の長年における研究成果と、日本の第一線で活躍する作家との交流を促し、またこれを一般に開くことにより、学問と創作の現場、そして一般読書人にかつてない刺激をあたえることにある。

本講座は（株）集英社による本学部への寄附により運営され、2013年度～2014年度の2ヶ年開催される。講演は原則として隔週土曜日の14:00～15:40、法文2号館一番大教室において行われる。本学教員がコーディネーターとして集英社の担当者とともに運営にあたる。2013年度は柴田元幸教授と渡部泰明教授がコーディネーターを務めた。

2013年度は特別招待講師として荒木飛呂彦氏（漫画家）、川上未映子氏（作家）を招き、以下の日程で実施した。受講者は公募抽選制を採り、150人の定員に対して1,000人を超える応募があった。また実際に行われた講演でも、各回約100名の受講者が出席し、熱気に包まれた講義が展開された。第12回の最終講座では、全12回中8回以上出席した受講者に「優良受講者」として修了証を授与した。

- | | | |
|------|-----------|--|
| 第1回 | 9月29日（日） | 安藤宏（本学教授）「太宰治と志賀直哉 ―小説の「文体」を考える」 |
| 第2回 | 10月5日（土） | 吉澤誠一郎（本学准教授）「中国ナショナリズムの起源」 |
| 第3回 | 10月20日（日） | 古井戸秀夫（本学教授）「黙阿弥『三人吉三』を読む」 |
| 第4回 | 11月2日（土） | 荒木飛呂彦（漫画家）「漫画のセリフについて」※ |
| 第5回 | 11月16日（土） | 平石貴樹（本学名誉教授）「日系アメリカ作家トシオ・モリの世界」 |
| 第6回 | 12月7日（土） | 多田一臣（本学名誉教授）「『万葉集』のことばの世界」 |
| 第7回 | 12月21日（土） | 設楽博己（本学教授）「縄文人と私たち」 |
| 第8回 | 1月11日（土） | 野崎歓（本学教授）「フランス映画と愛（アムール）」 |
| 第9回 | 2月1日（土） | 川上未映子（作家）「人が人に物語ることについて」 |
| 第10回 | 2月15日（土） | 逸身喜一郎（本学名誉教授）「カッサンドラー ―未来が見えるのに誰にも理解されない女」 |
| 第11回 | 3月1日（土） | 河野元昭（本学名誉教授）「誤読？」 |
| 第12回 | 3月15日（土） | 加藤陽子（本学教授）「日本近代史から考える憲法問題」 |

※この回のみ、鉄門記念講堂（医学部教育研究棟14F）にて開催

(5) 文学部公開講座

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部では、これまで北海道北見市で行ってきた「ところ公開講座」を、より多くの方に参加いただけるよう 2011 年度から本郷キャンパスにおいても「文学部公開講座」として開催することとした。これは、大学院人文社会系研究科・文学部において行われている教育及び研究の成果を積極的に公開していくとともに、社会連携をより一層深めることを目的としている。

◆第2回東京大学文学部公開講座 2012年5月12日(土) 14時 - 15時30分

「縄文人と動物たち」

講 師 : 設楽 博己 (考古学)

参加者数 : 約 220 名

◆第3回東京大学文学部公開講座 2012年11月23日(土) 14時 - 15時30分

「仏教の目指したものの一心を見つめる」

講 師 : 蓑輪 顕量 (インド哲学仏教学)

参加者数 : 約 200 名

◆第4回東京大学文学部公開講座 2013年6月15日(土) 14時 - 15時30分

「論語の解釈あれこれ」

講 師 : 小島 毅 (中国思想文化学)

参加者数 : 約 180 名